

# 山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学 —教室年報：2017—

Department of Gastroenterological,  
Breast and Endocrine Surgery  
Annual Report 2017



萩反射炉（萩市）



*Department of Gastroenterological,  
Breast and Endocrine Surgery  
Annual Report 2017*

# Contents

Page 1	巻頭言	教授	永野浩昭
Page 4	教室人事	医局長	鈴木伸明
Page 5	臨床報告（入院）	病棟医長	武田 茂
Page 6	臨床報告（外来）	外来医長	飯田通久
Page 7	臨床報告（各グループ）		
Page 8		上部消化管グループ	
Page 11		下部消化管グループ	
Page 14		肝胆膵グループ	
Page 18		乳腺・内分泌グループ	
Page 21	業績報告		
Page 22		英文論文	
Page 24		和文論文	
Page 25		国際学会発表・司会	
Page 26		国内学会発表・司会	
Page 38		地方会発表・司会	
Page 43		研究費取得状況	
Page 44		業績その他	
Page 46	Clinical and Research Conference 記録		
	研究者発表会議 記録		
Page 49	学位取得報告		
Page 51	2017年 年間行事		
Page 68	編集後記		





# 巻頭言

山口大学大学院医学系研究科  
消化器・腫瘍外科学 教授

永野 浩昭  
*Hiroaki Nagano*

山口大学に着任して、3年が経過した。一つの節目を迎えたことになる。この3年間、世代交代、組織新構築、臨床体制強化、専門性と教育のバランス、集約化と地域医療など、思うことは数多くあった。また、都市部の大学から地方大学へ赴任してみて、これまで想像すらしてなかったいろいろなギャップを感じながら、教室の歴史や伝統を継承しつつ、未来に向けて整合性のある発展を遂げるために、「消化器・腫瘍外科学講座はいかにあるべきか？」について考え続けた3年間でもあった。その中で、早急に着手する必要があると思ったことは3つある。

一つ目は、グループ診療への転換である。個々で患者さんを診るのではなく、常にチームで診療内容や方針について推敲してもらうことで、偏りのない医療を目指すことになるとともに、お互いを助け合うことが患者さんへの配慮にもつながると考えた。さらに、大学診療における専門性は重要である。そこで教室員の中で、学位修了と消化器外科専門医取得を条件として、個々の希望に応じて各グループに専従させ、より高いレベルを目指すことを目標とさせた。

二つ目は、山口大学の外科は日本においてどういう位置づけにあるのかについて常に考え続けることを、繰り返し教室員には伝えてきた。外科の本質は当然手術にあり、今、われわれの手術レベルについて知らずして、次の発展は望めない。もし、そこを知らずして進むのであれば、自分たちに対して中央でおこる“ある種のため息と嘲笑”に気づくことはない。そして、何の認識も反省もなく進み続ければ、ますます日本との間に大きな隔たりを作ってしまう。そんな外科に決して未来はない。何よりも、これからの山口の若者に対してそんな思いをさせたくなかった。

そして、三つめは、ヒエラルキーに基づく体制欠如の改善である。診療体制だけではなく、教育体制も研究体制も、個別に一人一人の思いだけで進めていた。そんなものは自らの組織に限界を作ることと同義である。終点の見えた診療、教育、研究は無価値である。そして、このような体制は、一流といわれる施設では世界中にない。システムと体制の整備、これは喫緊の課題と実感した。さて、小生の感じたこの三つの思い、教室員はどのように感じているのであろうか、そして同門の先生たちはこの巻頭言を読まれてどんな印象を持たれるのだろうか、そして、教室はこの3年間少しでも前に進めたのであろうか、。いろいろな意味でご批判を仰ぎたいと思っている。

潮流を回避することでは、真のORIGINALITYが生まれることはない。もし、そんなものがあるとすれば、それは異端にほかならない。「王道を進むこと」、岡 正朗学長(前教授)の思いを、あらためて教室のみんなに伝えたいといけない。そんなことを今、考えている。

# 医局員一同



藤本拓也

藤原康弘

桑原太一

山田健介

山本常則

佐藤陽子

中島正夫

藤原信行

田中宏典

松井洋人

北原正博

松隈聰

西山光郎

木村祐太

中島千代

友近忍

徳光幸生

徳久善弘

恒富亮一

兼清信介

前田訓子

鈴木伸明

山本滋

碓彰一

永野浩昭

吉野茂文

武田茂

飯田通久

# 日常の風景

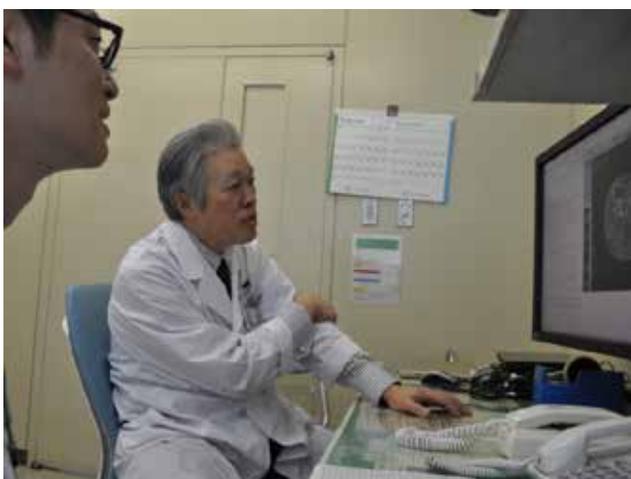
## カンファレンス風景



## 病棟回診風景



## 外来風景



# 教室人事



山口大学大学院医学系研究科  
 消化器・腫瘍外科学 医局長

**鈴木 伸明**

*Nobuaki Suzuki*

現在、医局長を仰せつかっております鈴木伸明です。

平成29年1月から平成29年12月までの大学の人事異動については以下の通りです。

同年4月1日付で、小倉記念病院から帰学していた医員の徳久晃弘が、都志見病院へ出向しました。徳久先生には新天地で救急医療、地域医療に貢献して頂き、外科医としての益々の成長を期待します。また、医員の関矢まりが徳山中央病院に、医員の渡邊孝啓が市立八幡浜総合病院にそれぞれ出向しました。関谷先生は姉御肌の持ち前の明るい性格で、渡邊先生は1年間色々大変でしたが体調を整えて、消化器外科・乳腺内分泌外科医として頑張ってくれるものと期待します。

帰学者に関してですが、同年4月1日付けで、山田健介、中島(旧姓中須賀)千代の大学院入学に伴い、山本常則が山口大学病院集中治療部 助教として小倉記念病院から、木村祐太が徳山中央病院から医員として帰学しました。二人とも今まで培った経験を生かして、高い視点と広い視野をもった消化器外科・乳腺内分泌外科医としてこれからの成長を望みます。

また、研究面では2名の大学院入学者を迎え、山田健介が山口大学病院集中治療部から、中島千代が学内からそれぞれ入学致しました。山口大学大学院消化器・腫瘍外科学教室の一員としての自覚を持って、根拠に基づく科学的考察力を持った消化器外科医へと成長していくことを期待しています。新入局員については、残念ながら今年は入局希望者がありませんでした。関連病院の先生方におかれましては、外科医の定数が不足したままご迷惑をおかけしている施設も多くあり、心苦しい限りです。医局員一同入局者を増やす努力を続けていますので、どうかご容赦下さい。

最後に同年9月1日付けで、山口大学医学部附属病院手術部講師で肝胆膵班のチーフを務めてくれていた坂本和彦が都志見病院に出向しました。以前、「自分はコーディネーターよりイチ外科医が性に合っている」と言っていたのを思い出しました。医局には坂本ファンも多く、しばらく寂しい空気が流れましたが、みんな頑張りますので、坂本先生におかれましては消化器外科・乳腺内分泌外科医として益々精進され、消化器・腫瘍外科学講座に貢献されることを期待します。

## 関連病院人事異動(平成29年1月1日から12月31日)

異動日	卒年	氏名	異動元	異動先
1月1日	H15	渡邊裕策	市立八幡浜総合病院	川崎医科大学 消化器外科
4月1日	S47	水田英司	小野田赤十字病院院長	同院名誉院長
"	S52	内山哲史	岩国市医療センター医師会病院	武久病院
"	S55	清水良一	徳山中央病院	小野田赤十字病院院長
"	S58	古谷卓三	関門医療センター	小倉記念病院
"	S59	足立 淳	岩国市医療センター医師会病院	大島東和病院
"	S59	内迫博幸	岩国市医療センター医師会病院	美祢市立病院
"	S62	山本 滋	山口大学消化器・腫瘍外科学講師	同診療准教授
"	S63	佐伯俊宏	関門医療センター	小倉記念病院
"	H2	宮原 誠	徳山中央病院	同院検査部
"	H5	為佐卓夫	University of Texas Medical Branch	徳山中央病院
"	H5	吉本裕紀	小倉記念病院	下関医療センター
"	H9	長島由紀子	下関医療センター	関門医療センター
"	H11	為佐美智子	休職中	小野田赤十字病院
"	H13	近藤潤也	下関医療センター	関門医療センター
"	H22	山本常則	小倉記念病院	山口大学病院集中治療部
"	H22	木村祐太	徳山中央病院	山口大学消化器・腫瘍外科学
"	H25	太田啓介	関門医療センター	市立八幡浜総合病院
"	H25	古谷 圭	市立八幡浜総合病院	関門医療センター
"	H25	徳久晃弘	小倉記念病院	都志見病院
"	H26	渡邊孝啓	山口大学消化器・腫瘍外科学	市立八幡浜総合病院
"	H26	関矢まり	山口大学消化器・腫瘍外科学	徳山中央病院
9月1日	H9	坂本和彦	山口大学医学部附属病院手術部講師	都志見病院

# 臨床報告（各グループ）

入院

外来

各グループ

上部消化管

下部消化管

肝胆膵

乳腺・内分泌



菊ヶ浜（萩市）

# 臨床報告（入院）



山口大学大学院医学系研究科  
 消化器・腫瘍外科学 病棟医長

**武田 茂**

*Shigeru Takeda*

病棟医長の武田です。2017年の入院診療につきましてご紹介いたします。

当科では、上部消化管、下部消化管、肝胆膵、乳腺内分泌の4グループで診療体制をとっています。年間手術件数は2010年以降、600件を越していますが、昨年は640件でした（応援手術含む）。そのうち鏡視下手術は327件で各診療グループともに増加して、消化器外科手術の64%を占めています。手術以外では化学療法が昨年に比べて100件以上増えて321件でした。全体の傾向として術前合併のあるハイリスク症例や、生体肝移植をはじめとする高難度症例も増加していますが、医療安全の観点からM&Mカンファレンスも導入して診療科全体での意識や情報を統一し、医療の質の向上を心掛けています。

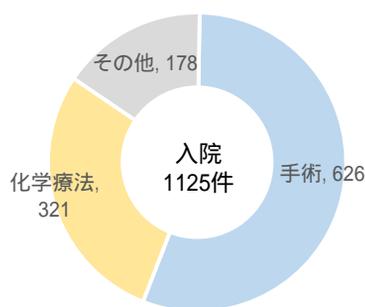
入院患者数は年々増加傾向にあり、入院患者数は1125名で、病床稼働率98.9%、平均在院日数15.7日とほぼフル稼働状態で、医局員はもちろんですが、病棟スタッフも頑張っています。病棟師長の采配のおかげで円滑にベッドが稼働できており、病棟稼働額は13.8億円まで増加して、病院経営にもかなり貢献していると思われまます。

現在、附属病院の再発整備事業による建築工事が進行中で、平成31年の春頃に完成し、手術室や集中治療室なども新しくなる予定です。今後も手術症例を増やして高度で安全な医療を提供できるように努力したいと思いますので、益々のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

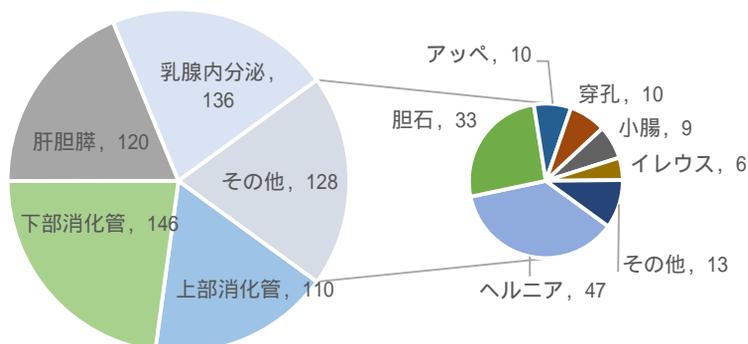
入院・手術件数の推移



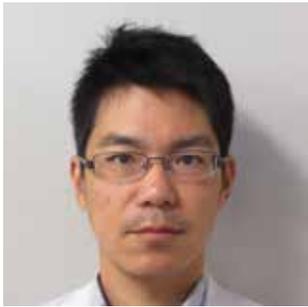
2017年入院患者内訳



2017年手術症例内訳



# 臨床報告 (外来)



山口大学大学院医学系研究科  
 消化器・腫瘍外科学 外来医長

**飯田 通久**

*Michihisa Iida*

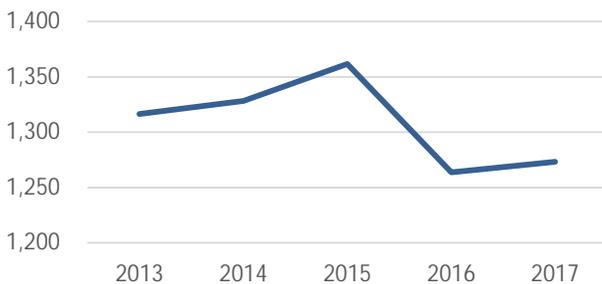
2017年の10月から坂本和彦先生から外来医長を引き継ぎました飯田です。当科の外来診療の近況につきましてご報告いたします。

外来診療の体制ですが、消化器の紹介患者さんの初診は、火曜日は永野浩昭教授、金曜日は武田茂医師が担当、診察しております。初診が終わった後に、各臓器チーフ(上部消化管:武田茂医師、下部消化管:鈴木伸明医師、肝胆膵:徳光幸生医師)から具体的な治療方針や日程等について説明しております。また乳腺・甲状腺の患者さんに関しては、木・金曜日は山本滋医師、火曜日は前田訓子医師が担当・診察しております。

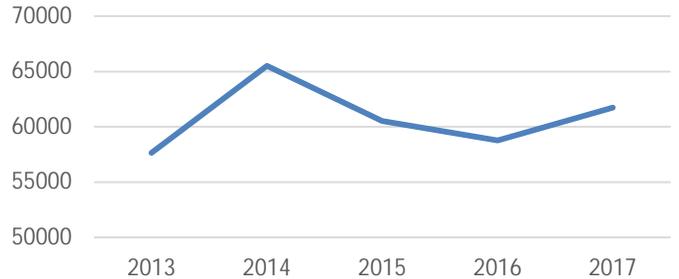
外来業務関連データでは最近の外来患者延べ数(月)は1300名前後、院外からの新患紹介(月)も50名弱でここ数年横ばいとなっておりますが、年度別稼働額は増加傾向となっております。新患のほとんどは学内・学外部からのご紹介であり、最近では県内遠方からも紹介していただく機会が増えていきます。特に肝胆膵領域や食道など専門性の高い疾患のご紹介が近年増えてきている印象があり、山口県における高難度手術の集約化が少しずつ進んでいることを肌で感じております。これもひとえに多くの先生方に患者さんをご紹介いただいている結果であり、この場を借りて御礼申し上げます。当科としても専門性の高い高度な外科医療を提供するという大学病院の役割を全うできるよう今後も誠心誠意努めていく所存であります。

今後も皆さまからの益々のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

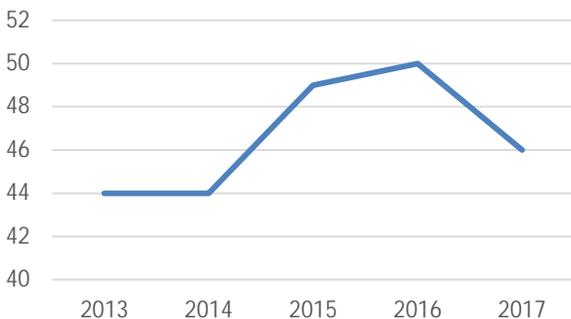
外来患者平均延べ数(人/月)



月平均稼働額(万円/月)



院外からの新患紹介(人/月)



専門名	月	火	水	木	金
初診	当番医		当番医	当番医	
大腸・肛門		鈴木伸明			鈴木伸明
肝臓・胆道・膵臓		永野浩昭			徳光幸生
上部消化管		武田茂			武田茂
乳腺・甲状腺		前田訓子		山本滋	山本滋
肝移植		永野浩昭			永野浩昭

# 上部消化管グループ

## スタッフ

武田 茂、飯田通久、  
兼清信介、西山光郎、  
吉野茂文(腫瘍センター)



上部消化管グループは武田、飯田、兼清、西山のメンバーで食道・胃疾患の診療を行っております。2017年の新規患者131例、手術は110例でした。大半が食道癌、胃癌の症例です。当科は食道外科専門医が3名在籍する県内唯一の食道外科専門施設で、食道癌では90%以上が鏡視下手術を行っており、低侵襲で安全な手術を目指しております。NSTや周術期リハビリテーションなどチーム医療も積極的に導入して術後合併症の予防に努めています。胃癌については腹腔鏡手術を進行癌にも適応を広げ、80%以上の症例で腹腔鏡手術を行いました。接合部癌も増えており、腹腔鏡下噴門側胃切除や胸腔鏡を併用した切除・再建などの機能温存を目指した新しい鏡視下手術を導入しています。化学療法は新規レジメンも増え、進行・再発症例だけでなく術前化学療法、術後補助療法など、腫瘍センターの吉野を中心に行っており、地域連携も含めて包括的ながん治療を提供できるように心掛けております。

## 平成29年診療研究情報報告

### 入院患者数

入院患者数		胃疾患	
食道疾患	44例	胃疾患	87例
食道癌	38例	胃癌	66例
食道裂孔ヘルニア	3例	接合部癌	5例
食道アカラシア	2例	GIST	6例
食道GIST	1例	十二指腸癌・NET	2例
		その他	6例

### 手術症例数

食道疾患名	41例	術式	41例
食道癌	25例	食道癌根治術	25例
		腹臥位胸腔鏡食道亜全摘術	22例
		右開胸開腹食道亜全摘術	1例
		頸部食道喉頭合併切除	1例
		縦隔鏡下食道切除術	1例
下咽頭癌	4例	遊離空腸再建(応援手術)	4例
頸部リンパ節転移	2例	頸部郭清術	2例
その他	5例	その他手術	5例
膿胸	1例	胸腔鏡下洗浄ドレナージ	1例
胃管気管瘻	1例	瘻孔閉鎖術	1例
下咽頭癌術後	1例	食道瘻造設術	1例
食道裂孔ヘルニア	1例	腹腔鏡下噴門形成術	1例
横隔膜ヘルニア	2例	腹腔鏡下ヘルニア修復術	2例

胃疾患名	69例	術式	69例
胃癌	53例	腹腔鏡下胃全摘術	7例
		腹腔鏡下幽門側胃切除術	34例
		ロボット支援下胃切除術	1例
		腹腔鏡下バイパス術	2例
		胃全摘術	2例
		幽門側胃切除術	3例
		残胃全摘術	1例
		審査腹腔鏡	1例
		腹腔鏡下噴門側胃切除	2例
食道胃接合部	5例	腹腔鏡下噴門側胃切除	1例
		胸腔鏡・腹腔鏡下 中下部食道噴門切除	4例
GIST	6例	腹腔鏡下胃部分切除術	3例
		LECS	3例
十二指腸癌・NET	1例	LECS	1例
穿孔	2例	腹腔鏡下大網充填	2例
内ヘルニア	1例	腹腔鏡下ヘルニア修復術	1例

## トピックス

- 1月 第16回食道手術ビデオ懇話会（大阪）に参加しました（武田、北原、西山）。
- 2月 第14回日本癌治療学会市民公開講座で講演しました（武田、飯田）。  
第34回山口県食道疾患研究会で発表しました（渡邊、兼清）
- 3月 JCOG食道班会議にオブザーバー参加しました（武田、兼清）  
第89回日本胃癌学会総会に参加しました（武田、飯田、西山、吉野）。  
第11回中四国食道外科平成の会に参加しました（武田、兼清、北原、西山）
- 4月 第117回日本外科学会定期学術集會に参加しました（武田、飯田、兼清、北原、西山、中島、吉野）
- 5月 第38回癌免疫外科研究会に参加しました（兼清、北原）。  
第71回手術手技研究会に参加しました（飯田）。
- 6月 第60回関西胸部外科学術集會に参加しました（武田、兼清）。  
第42回日本外科系連合学会学術集會に参加しました（武田、北原、西山、吉野）。  
第70回日本食道学会学術集會に参加しました（武田、兼清、北原、西山、中島、吉野）  
第39回癌局所療法研究会に参加しました（北原）
- 7月 第72回日本消化器外科学会総会に参加しました（武田、飯田、兼清、北原、西山、中島、吉野）。  
第15回食道手術ビデオ懇話会（大阪）に参加しました（武田、兼清）。
- 9月 第12回中四国食道外科平成の会に参加しました（武田、兼清、北原、西山）。  
大阪大学消化器外科学に施設見学に行きました（兼清）。  
アジア太平洋消化器病週間(APDW2017)に参加しました(兼清)。
- 10月 JDDW2017に参加しました（武田、飯田、兼清、西山、吉野）。  
第55回日本癌治療学会に参加しました（武田、吉野）。  
第47回胃外科・術後障害研究会に参加しました（飯田）。  
第78回日本臨床外科学会総会に参加しました（武田、飯田、兼清、北原）。
- 11月 JCOG食道班会議にオブザーバー参加しました（武田、兼清、北原）。  
第30回日本バイオセラピー学会学術集會に参加しました（兼清、吉野）。
- 12月 第30回日本内視鏡外科学会総会に参加しました（武田、飯田、兼清、西山、中島）  
日本消化器外科学会専門医認定試験に合格しました（北原、西山）。

# 平成29年研究報告（平成29年12月31日現在）

UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況
UMIN000016954	食道癌患者を対象とした術後補助療法としてのS-588410（ペプチドワクチン、塩野義製薬）による第III相多施設共同プラセボ対照二重盲検無作為化比較試験	食道癌	塩野義製薬	実施中
UMIN000025412	食道癌患者へのDCF療法時における成分栄養剤の口腔粘膜炎症抑制作用の検討 - エレンタール非投与群を対照群としたランダム化第 相比較臨床試験（EPOC2 study）	食道癌	JFMC	実施中
UMIN000016196	切除不能・進行再発胃癌の2次化学療法としての低用量Nab-Paclitaxel療法の有用性の検討 ～臨床第II相試験～	胃癌	山口大学	実施中
UMIN000031285	切除不能・進行再発胃癌を対象としたweekly nab-Paclitaxel + Ramucirumab併用療法の有用性を検討する第 相臨床試験	胃癌	山口大学	実施中
UMIN000023065	Ramucirumab抵抗性進行胃癌に対するramucirumab + Irinotecan併用療法のインターグループランダム化第III相試験	胃癌	OGSG	実施中
JMA-IIA00225	進行胃癌患者を対象とした審査腹腔鏡検査時におけるSPP-005を用いた光線力学診断の有効性及び安全性を検討する多施設共同試験	胃癌	大阪大学	実施中
UMIN000030850	切除不能胃癌におけるニボルマブのバイオマーカー探索を含めた観察研究 JACCRO GC-08	胃癌	JACCRO	申請中



# 下部消化管グループ

## スタッフ

鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍  
田中宏典、碓 彰一



2017年、下部消化管グループは鈴木、友近、田中のメンバーを中心に、碓をスーパーバイザーとして診療を行いました。症例は年々増加傾向ですが、なかでも結腸・直腸癌症例に対する手術は96例と、前年と変わらない症例数でした。そのうち腹腔鏡手術は90例と94%の症例に施行しました。良性疾患に関しても積極的に鏡視下手術を導入しています。臨床研究にも積極的に参加し、IRB承認のもと症例登録を行いました。大腸班チームカンファレンスを週1回、消化器内科との合同カンファレンス（Cancer Board）を週1回行っています。消化器・腫瘍外科学としての全体カンファも週2回行っており、ここで肝胆膵班と相談し、抗がん剤治療先行による切除不能肝転移症例に対するconversion therapy（肝転移切除等）も積極的に取り組んでいます。2017年の大腸癌肝転移切除症例数は16例でした（詳細は肝胆膵班参照）。

# 平成29年診療研究情報報告

## 入院患者数(化学療法含む)

結腸/直腸癌	183
回盲部癌	8
上行結腸癌	29
横行結腸癌	9
下行結腸癌	4
S状結腸癌	45
直腸癌	86
その他	2

のべ入院患者数 257人

良性疾患	74
イレウス	3
直腸脱	6
炎症性腸疾患 (クローン病5例、潰瘍性大腸炎3例)	8
急性虫垂炎、憩室炎等	11
肛門疾患	6
ストーマ造設・閉鎖	10
汎発性腹膜炎等	7
その他	23

## 手術症例数

疾患別	手術症例：182例
大腸癌	96例
クローン病・潰瘍性大腸炎	8例
イレウス	11例
虫垂炎	9例
小腸疾患	7例
肛門疾患（痔核、痔瘻）	6例
直腸脱	5例
ストーマ閉鎖・造設術	17例
その他（急性腹症、憩室出血等）	23例

大腸癌：部位別	計96例
盲腸	10
上行結腸	23
横行結腸	8
下行結腸	4
S状結腸	19
直腸	26
大腸重複癌	5
その他（骨盤内再発）	1

大腸癌：術式別	症例数	大腸癌：術式別	症例数
回盲部切除術	17例	低位前方切除術	16例
右半結腸切除術	14例（開腹1例）	Hartmann手術	0例
横行結腸切除術	6例	直腸切断術	1例
下行結腸切除術(functional)	4例（開腹1例）	ISR	3例
S状結腸切除術(functional)	17例（開腹2例）	経肛門的腫瘍摘除術	5例
高位前方切除術	5例	骨盤内臓器全摘術	開腹2例
		その他	6例

計 96例

## トピックス

- 1月 岩手で開催された第86回大腸癌研究会に参加し、引き続き腹腔鏡下大腸切除研究会にも参加しました。（鈴木、友近、田中）  
第63回山口県医師会教育講座「症例からひもとく最新の消化器癌、乳癌治療＜大腸癌＞」で講演しました。（鈴木）
- 3月 第14回日本癌治療学会主催市民公開講座で「体にやさしい大腸癌治療最前線」の講演を行いました。（鈴木）
- 4月 横浜で行われた第117回日本外科学会定期学術集会に参加しました。（裕、鈴木、友近、田中）
- 5月 シカゴで開催された2017ASCO Annual Meetingに参加しました。（裕）
- 7月 三重で開催された第87回大腸癌研究会に参加しました。（鈴木、友近、田中）  
金沢で行われた第72回日本消化器外科学会総会に参加しました。（裕、鈴木、友近、田中）
- 10月 福岡で行われた第25回日本消化器関連学会週間で友近先生が優秀演題賞を受賞しました。（友近）
- 11月 福岡で開催された第72回日本大腸肛門病学会に参加しました。（鈴木、友近、田中）
- 12月 京都で開催された日本内視鏡外科学会に参加しました。（鈴木、友近）

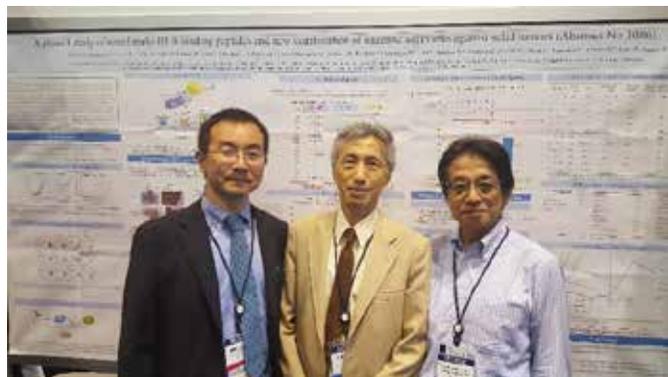
## 平成29年臨床試験一覧

管理番号	研究責任者	担当当事者	試験名
H26-053	永野浩昭	鈴木伸明	【ULTIMATE TRIAL】肛門近傍の下部直腸癌に対する腹腔鏡下手術の前向き第 相試験 (ULTIMATE TRIAL)
H26-171	永野浩昭	鈴木伸明	【C Cubed Study (JSWOG C-4)】治癒切除不能進行・再発大腸癌に対する一次治療としてのカペシタビン/LV5FU2+ベバシズマブ療法後のXELOX/FOLFOX+ベバシズマブ療法とXELOX/FOLFOX+ベバシズマブ併用療法の多施設共同ランダム化第 相臨床試験 C Cubed Study (JSWOG C-4)
H27-070	永野浩昭	鈴木伸明	【PARADIGM study】RAS遺伝子 (KRAS/NRAS遺伝子) 野生型で化学療法未治療の切除不能進行再発大腸癌患者に対するmFOLFOX6+ベバシズマブ併用療法とmFOLFOX6+パニツムマブ併用療法の有効性及び安全性を比較する第 相無作為化比較試験 (PARADIGM study)
H27-091	永野浩昭	鈴木伸明	【PARADIGM 付随研究】RAS遺伝子 (KRAS/NRAS遺伝子) 野生型で化学療法未治療の切除不能進行再発大腸癌患者に対するmFOLFOX6+ベバシズマブ併用療法とmFOLFOX6+パニツムマブ併用療法の有効性及び安全性を比較する第 相無作為化比較試験における治療感受性、予後予測因子の探索的研究 (PARADIGM 付随研究)
H27-108	永野浩昭	裕 彰一	【YNP01】進行・再発固形癌に対するHSP70由来ペプチド+GCP3由来ペプチド+IMP321+Hiltonolの複合免疫療法としての第 相臨床試験(YNP試験)
H27-162	永野浩昭	鈴木伸明	【Be TRI】【TRICC1414】化学療法未治療の切除不能な進行・再発大腸癌に対するFOLFOXIRI+ベバシズマブ療法の第 相臨床試験 (Be TRI)
H27-196	永野浩昭	鈴木伸明	【JACCRO CC-09試験】抗EGFR抗体薬パニツムマブ投与歴のあるKRAS遺伝子野生型の切除不能進行・再発大腸癌に対する三次治療におけるパニツムマブ再投与の第 相試験 (JACCRO CC-09)
H27-197	永野浩昭	鈴木伸明	【JACCRO CC-09試験AR】「抗EGFR抗体薬パニツムマブ投与歴のあるKRAS遺伝子野生型の切除不能進行・再発大腸癌に対する三次治療におけるパニツムマブ再投与の第 相試験」におけるバイオマーカー研究 (JACCRO CC-09AR)

管理番号	研究責任者	担当者	試験名
H27-198	永野浩昭	鈴木伸明	【JACCRO CC-13試験】RAS野生型進行大腸癌患者における FOLFOXIRI + セツキシマブと FOLFOXIRI + ペバシズマブの最大腫瘍縮小率(DpR)を検討する無作為化第 相臨床試験 (JACCRO CC-13試験)
H27-203	永野浩昭	碓 彰一	【CpG】進行・再発大腸がんに対する抑制性免疫解除剤+5種類のペプチドカクテル+CpGの複合免疫療法の第 相臨床試験
H28-004	永野浩昭	鈴木伸明	【JACCRO CC-13試験 AR】RAS野生型進行大腸癌患者における FOLFOXIRI + セツキシマブと FOLFOXIRI + ペバシズマブの最大腫瘍縮小率(DpR)を検討する無作為化第 相臨床試験におけるバイオマーカー研究 (JACCRO CC-13AR)
H29-110	永野浩昭	鈴木伸明	【JFMC50-1701-C6】ロンサーフ(TFTD)使用症例の後ろ向き観察(コホート)研究(JFMC50-1701-C6)
H29-149	永野浩昭	鈴木伸明	「下部進行直腸癌に対する腹腔鏡下手術の意義」研究登録症例における追加調査



大腸癌・内視鏡外科手術（鈴木、友近、田中）



2017米国臨床腫瘍学会 (ASCO)において、Cytolimic社の土肥さんと発表ポスター前で（碓、松井）



4月に行われた、CAMPS in 中国、大腸領域DVDカンファレンスで、島根県立中央病院の金澤先生にビデオクリニックをお願いしました。（鈴木）



昨年の井上先生に続き、田中先生ご結婚おめでとうございます。末永く、お幸せに (^ ^)/ (^ ^) 新天地でも頑張ってください。



友近 忍 先生が、JDDW2017  
優秀演題賞を受賞しました！



Good Job!

# 肝胆膵グループ

## スタッフ

坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、  
松井洋人、松隈 聡、藤本拓也



肝臓・胆道・膵臓領域の疾患に対し、外科手術を中心として幅広く診療に従事しています。手術に関しては難易度の高いものが多い領域ですが、当科は日本肝胆膵外科学会が定める“高度技能修練施設”の中の、とくに高難度手術を年間50例以上こなす“認定施設A”として山口県唯一の認定施設です。他施設では切除不能と判断されるような胆道癌、膵臓癌などの難治癌に対しても、血管合併切除再建などを伴う切除限界を追求した拡大手術を行うことで、治癒が得られる可能性があります。また、肝細胞癌や転移性肝癌などに対する胆道再建を伴わない肝切除においては、部分切除のみならずより広範囲な系統切除も行っており、低侵襲手術にも力を入れております。さらに、癌診療のみならず生体肝移植に関しても2016年の再開以降積極的に進んでおり、2017年は4例施行しました。このように手術の幅は広いですが、いずれも個々の患者さんに最新かつ最適な治療を提供できるような体制で診療を行っています。

## 平成29年診療研究情報報告

### 入院患者数（化学療法を含む）

肝疾患	95	胆道疾患	103	膵・脾疾患	124
肝細胞癌	29	胆嚢癌	34	膵癌	113
転移性肝腫瘍	21	胆管癌	6	PNET	1
肝内胆管癌	37	十二指腸乳頭部癌	2	慢性膵炎	4
PSC（肝移植）	1	良性・その他	61	IPMN	5
ドナー（肝移植）	4			SCN	1
C型肝硬変（肝移植）	3				

### 手術症例数

( ) 腹腔鏡手術症例、\* 重複あり

	肝切除					生体肝移植		肝 焼 灼	胆管切 除再 建	膵頭十 二指 腸切 除	膵体尾 部切 除	その他	計
	葉切 以上	区域	亜 区域	外側 区域	部分	ドナー	レシピエント						
肝細胞癌	2(2)	3(2)	2(1)	1(1)	20(15)					-	-		28(21)
肝内胆管癌	1		1*		1(1)			1*		-	-	1	4(1)
転移性肝癌	3(1)		2(1)		10(6)			1*		-	-	1	16(8)
その他の肝疾患					1*		4	1*		-	-		5
肝門部・上部胆管癌	1*							1*					1
中・下部胆管癌										4			4
胆嚢癌					6*(2)			3*				2(1)	8(3)
乳頭部癌										2			2
その他の胆道疾患												40(33)	42(33)
膵頭部癌	-	-	-	-	-			-		10		3(1)	13(1)
膵体尾部癌	-	-	-	-	-			-			6	1	7
その他の膵疾患	-	-	-	-	-			-		7	5(3)	2	14(3)
上記以外						4						4	8
計	7(3)*	3(2)	5*(2)	1(1)	38*(24)	4	4	0	7*	23	11(3)	54(35)	150(71)

# トピックス

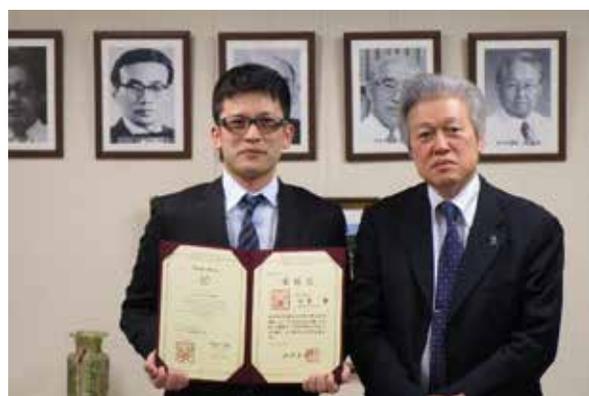
- 1月 肝移植術後管理フォーラムに参加しました（坂本、松隈）  
九州肝臓外科研究会に参加しました（坂本、徳久）
- 2月 市民公開講座にて肝癌治療に関して講演を行いました（坂本）  
「膵癌ペプチドワクチンの有効性を予測するバイオマーカー」に関する論文がJ Exp Clin Cancer Res誌に掲載されました（新藤）  
生体肝移植手術を行いました（再開2例目）
- 3月 免疫懇話会にて肝移植に関し講演を行いました（坂本）  
学位審査を終え、学位を取得しました（松隈）
- 4月 American Association For Cancer Research Annual Meeting (AACR) 2017で発表しました（松隈）
- 5月 生体肝移植手術を行いました（再開3例目）  
第2回山口胆膵疾患研究会総会を開催しました（全員）  
「膵癌術後肺転移に対する外科切除」に関する論文がJ Clin Gastroenterol誌に掲載されました（中島）
- 6月 生体肝移植手術を行いました（再開4例目）  
ASCO annual meeting 2017 で発表しました（松井）
- 7月 日本消化器外科学会総会に参加しました（全員）
- 9月 「膵癌切除後のGEM-養子免疫療併用術後補助療法」に関する論文がPancreas誌に掲載されました（松井）  
「門脈腫瘍栓を伴う肝細胞癌に対する外科治療」に関する論文がHepatol Res誌に掲載されました（坂本）  
学位審査を終え、学位を取得しました（松井）
- 10月 坂本医師が都志見病院外科に異動となりました（坂本）
- 11月 生体肝移植手術を行いました（再開5例目）  
肝移植診療検討会を開催しました（全員）
- 12月 第3回山口胆膵疾患研究会総会を開催しました（全員）



生体肝移植風景



大阪大学から応援に来て頂きました



松隈先生 学位取得おめでとうございます



内科との合同カンファレンス風景

## 終了した臨床試験

	UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況
肝	なし	HCCに対する系統的肝切除と非系統的肝切除の比較 -日本-韓国の肝胆膵外科共同研究	肝細胞癌	関西医科大学	終了
胆	UMIN000009831	FDG-PET陽性リンパ節転移を伴う切除可能胆道癌 に対する術前ゲムシタピン/シスプラチン/S-1併 用術前化学療法(GCS療法)のphaseII 試験 (KHBO1201)	胆道癌	KHBO	終了
	UMIN000009945	肝葉切除を伴う胆道癌切除例に対する Gemcitabine(GEM)またはS-1の術後補助化学療法 の無作為化第II相比較試験 (KHBO1208 試験)	胆道癌 (肝内胆管癌 を含む)	KHBO	終了
	UMIN000017914	中部胆管癌に対するPDと胆管切除の比較	中部胆管癌	東北大学	終了
膵	主施設登録中	膵頭十二指腸切除術における慢性肝障害の影響に関 する研究	膵頭十二指腸切除を 施行された患者	東京慈恵会医科大 学	終了

## 実施中の臨床試験

	UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況
肝	UMIN000019205	症例登録システムを用いた腹腔鏡下肝切除術の安全 性に関する検討 -前向き多施設共同研究-	腹腔鏡下肝切除を予 定された患者	肝臓内視鏡外科研 究会	実施中
	UMIN000010691	肝細胞癌術後再発予防を目的としたHSP70mRNA 導入樹状細胞療法の第 / 相ランダム化比較臨床 試験	肝細胞癌	山口大学	実施中
胆	UMIN000011688	根治切除後胆道癌に対する術後補助療法としてのS- 1療法の第III相試験 (JCOG1202, ASCOT)	胆道癌	JCOG	実施中
	UMIN000029888	胆道癌における術中洗浄細胞診の有用性に関する後 ろ向き多施設共同観察研究 (KHBO1701)	胆道癌	KHBO	実施中
	なし	胆管内乳頭状腫瘍、粘液性嚢胞性腫瘍、乳頭型胆管 癌の日韓合同大規模データ集計への当科症例の資料 提出	胆管内乳頭状腫瘍、 粘液性嚢胞性腫瘍、 乳頭型胆管癌	獨協医科大学	実施中
膵	UMIN000010253	特許化した吻合補助器を用いた新規吻合法に関する 臨床研究	膵頭十二指腸切除を 施行される患者	山口大学	実施中
	UMIN000018763	膵全摘患者に対する前向き実態調査	膵全摘を施行された 患者	近畿大学	実施中
	UMIN000023237	膵体尾部切除での膵実質切断における脾静脈剥離- 個別処理と脾静脈同時切断の多施設共同無作為化比 較第 相試験 COSMOS-DP trial -	膵疾患 (膵体尾部切 除を予定された患 者)	和歌山県立医科大 学	実施中
	なし	膵臓癌の診療向上のための分子遺伝学および分子 疫学的研究	膵癌	大阪大学	実施中
	UMIN000016380	膵・消化管および肺・気管支・胸腺神経内分泌腫瘍 の患者悉皆登録研究 (TRINET1332)	神経内分泌腫瘍	日本神経内分泌腫 瘍研究会	実施中
	UMIN000029147	切除可能境界膵癌に対するGemcitabine / nab- Paclitaxel併用療法もしくはmFOLFIRINOXによる 術前化学療法に関する多施設共同前向き観察研究	膵癌	山口大学	実施中
	UMIN000023143	局所進行膵癌を対象としたmodified FOLFIRINOX 療法とゲムシタピン+ナブパクリタキセル併用療法 のランダム化第II相試験 (JCOG1407、LAPC-mFOLFIRINOX/GnP-rP2)	膵癌	JCOG	実施中

申請中の臨床試験

	UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況
肝	なし	肝細胞癌に対する肝切除またはラジオ波焼灼療法施行後の再発治療・長期予後に関する観察研究：SURF trial付随研究	肝細胞癌	東京大学	IRB申請中
	UMIN000029991	根治切除可能肝細胞癌(HCC)に対する周術期補助療法としてのHSP70由来ペプチド+GPC3由来ペプチド+IMP321+Hiltonolを用いた複合免疫療法の第I相臨床試験(YCP02試験)	肝細胞癌	山口大学	IRB申請中
胆	未	肝葉切除を伴う胆道癌切除例に対するGemcitabine(GEM)とCisplatin(CDDP)併用療法による術後補助化学療法の第I相試験	胆道癌	KHBO	IRB申請中
	UMIN000027785	胆嚢癌の診断と予後に関する前向き観察研究	胆嚢癌	東北大学	IRB申請中
膵	UMIN000020978	浸潤性膵管癌切除後の残膵再発に対する再切除の意義の検討	膵癌	名古屋大学	IRB申請中
	なし	Borderline resectable膵癌に対する治療成績についての後ろ向き研究	膵癌	九州膵胆道癌治療研究会	IRB申請中
	なし	慢性膵炎による難治性疼痛に対する外科治療 施行症例の検討-多施設共同後向き観察研究-	慢性膵炎	三重大学	IRB申請中
	なし	慢性膵炎に対する外科治療の実態調査と普及への課題解析 -多施設共同後向き観察研究-	慢性膵炎	三重大学	IRB申請中
	UMIN000021403	慢性膵炎による難治性疼痛に対する内科的インターベンション治療と外科治療の比較解析-多施設共同前向き実態調査-	慢性膵炎	藤田保健衛生大学	IRB申請中
		膵癌に対する樹状細胞ワクチンTLP-001治験	膵癌	和歌山医科大学	IRB申請中
		根治切除不能局所進行膵癌に対するGEM+nab-PTX療法の有用性に関する前向き多施設共同研究(GEAR study)	BR-A膵癌	九州大学	IRB申請中

# 乳腺内分泌グループ

## スタッフ

山本滋、前田訓子、  
佐藤陽子、千々松日香里



乳腺・甲状腺・副甲状腺の悪性・良性疾患の外科手術および薬物療法などを、診断を含めて幅広く行っています。特に乳癌センチネルリンパ節生検においては、3D CT-リンフォグラフィ、Real-time Virtual Sonography (RVS), ICGによるセンチネルリンパ節直接マーキング法といった当科オリジナルの方法で、センチネルリンパ節を高精度に同定しています。さらに乳房温存手術において、乳腺部分切除後の欠損部に対する乳腺脂肪弁充填術式および部分切除補助器具（商品名 リセクションガイド、特許取得）も新規考案し、良好な整容性が保たれています。また、当院では形成外科専門医、乳腺専門医が備っており、自家組織およびインプラントを考慮した乳房再建手術を保険診療で行うことが可能です。今後は、山口県の乳腺外科および内分泌外科の若手専門医の教育・育成に力を注ぎたいと思います。

## 平成29年診療研究情報報告

### 入院患者数

乳腺疾患	158	甲状腺・副甲状腺疾患	5
乳癌	116	甲状腺癌	2
良性疾患	12	Basedow病	2
マンモトーム検査	15	良性腫瘍・その他	0
その他	15	副甲状腺疾患	1

### 手術症例数

乳腺疾患	128	甲状腺・副甲状腺疾患	5
乳癌に対する手術	116	甲状腺癌に対する手術	2
乳房切除術単独	0	甲状腺葉切除+頸部郭清	1
乳房切除術+センチネルリンパ節生検	57	甲状腺全摘+頸部郭清	1
乳房切除術+腋窩リンパ節郭清	24	甲状腺良性腫瘍	0
乳房温存術単独	7	Basedow病手術	2
乳房温存術+センチネルリンパ節生検	21	副甲状腺手術	1
乳房温存術+腋窩リンパ節郭清	4		
皮下乳腺全摘+乳房再建	1		
悪性・その他	1		
良性・その他	12		

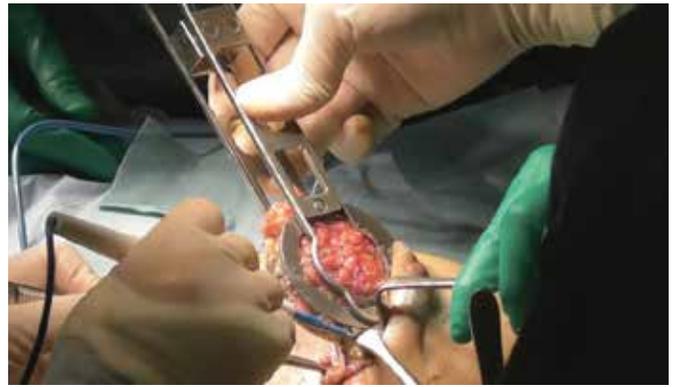
## トピックス

2017.2月 中四国甲状腺外科研究会で、佐藤が発表しました  
 4月 日本外科学会定期学術集会で、山本、前田が発表しました  
 5月 手術手技研究会で、佐藤が発表しました。  
 6月 日本外科系連合会で、山本、佐藤が発表しました。  
 6月 日本癌局所療法研究会で、前田が発表しました。  
 6月 日本がん転移学会で、佐藤が発表しました。  
 7月 日本乳癌学会で、山本、前田、佐藤が発表しました  
 9月 日本乳癌学会中国四国地方会で、山本、前田、佐藤が発表しました  
 9月 山口県乳腺疾患研究会で、佐藤が発表しました。  
 10月 日本癌治療学会で、山本、前田、佐藤が発表しました  
 11月 日本臨床外科学会総会で、山本、佐藤が発表しました。当科で開発した乳腺円状部分切除器（商品名リセクションガイド）ブース展示を（株）東鋼に行っていただきました

2018.4月 日本乳癌学会認定医を佐藤（第1外より2年間の予定で乳腺グループに加わっていましたが、2018.4月より山口県立総合医療センターへ異動）が取得しました。

## 平成29年研究報告（平成29年12月31日現在）

UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況
000007166	A phase study of a low dose every 3 weeks Nab-paclitaxel for metastatic or recurrent breast cancer.	転移・再発乳癌	山口大学	登録終了
	転移性乳癌におけるエリブリン・タキサン逐次投与の有用性の検討	転移乳癌	山口大学	実施中
000015780	乳がん術後上肢リンパ浮腫の検出に用いられる非侵襲的検査値の術後変動の検討	乳癌	山口大学	実施中
000014952	FUSION 01study	乳癌	日本乳腺甲状腺超音波医学会	登録終了
000000843	JBCRG-04	病理学的R1乳癌	JBCRG	登録終了
000001090	NSAS BC-06	閉経後乳癌	NSAS	登録終了
000002349	RESPECT	HER2陽性乳癌	NSAS	登録終了
000018202	HER2陽性の進行・再発乳癌に対するベルツズマブ再投与の有用性を検証する第III相臨床研究 - ベルツズマブ再投与試験 - JBCRG-M05(PRECIOUS)	HER2陽性乳癌	JBCRG	実施中



リセクションガイドを用いた手術風景

当科で開発した乳腺円状部分切除器（商品名リセクションガイド）

# 2017年 業績報告



久坂玄瑞進撃像（萩市）

# 英文論文

1. Suzuki N, Hazama S, Iguchi H, Uesugi K, Tanaka H, Hirakawa K, Aruga A, Hatori T, Ishizaki H, Umeda Y, Fujiwara T, Ikemoto T, Shimada M, Yoshimatsu K, Shimizu R, Hayashi H, Sakata K, Takenouchi H, Matsui H, Shindo Y, Iida M, Koki Y, Arima H, Furukawa H, Ueno T, Yoshino S, Nakamura Y, Oka M, Nagano H. A phase II clinical trial of peptide cocktail therapy for patients with advanced pancreatic cancer: VENUS-PC study. *Cancer Sci.* 2017 Jan ; 108(1) 73-80
2. Suehiro Y, Sakai K, Nishioka M, Hashimoto S, Takami T, Higaki S, Shindo Y, Hazama S, Oka M, Nagano H, Sakaida I, Yamasaki T. Highly sensitive stool DNA testing of fusobacterium nucleatum as a marker for detection of colorectal tumours in a Japanese population. *Ann Clin Biochem.* 2017 Jan ; 54(1) 86-91
3. Kijima T, Hazama S, Tsunedomi R, Tanaka H, Takenouchi H, Kanekiyo S, Inoue Y, Nakashima M, Iida M, Sakamoto K, Suzuki N, Takeda S, Ueno T, Yamamoto S, Yoshino S, Okuno K, Nagano H. MicroRNA-6826 and -6875 in plasma are valuable non-invasive biomarkers that predict the efficacy of vaccine treatment against metastatic colorectal cancer. *Oncol Rep.* 2017 Jan ; 37(1) 23-30
4. Sakamoto K, Takeda S, Kanekiyo S, Nishiyama M, Kitahara M, Ueno T, Yamamoto S, Yoshino S, Hazama S, Okayama N, Nagano H Association of tumor necrosis factor- polymorphism with chemotherapy-induced oral mucositis in patients with esophageal cancer. *Mol Clin Oncol.* 2017 Jan ; 6(1) 125-129
5. Takada Y, Kaido T, Shirabe K, Nagano H, Egawa H, Sugawara Y, Taketomi A, Takahara T, Wakabayashi G, Nakanishi C, Kawagishi N, Kenjo A, Gotoh M, Toyoki Y, Hakamada K, Ohtsuka M, Akamatsu N, Kokudo N, Takeda K, Endo I, Takamura H, Okajima H, Wada H, Kubo S, Kuramitsu K, Ku Y, Ishiyama K, Ohdan H, Ito E, Maehara Y, Honda M, Inomata Y, Furukawa H, Uemoto S, Yamaue H, Miyazaki M, Takada T. LTx-PET study group of the Japanese Society of Hepato-Biliary-PancreaticSurgery, the Japanese Liver Transplantation Society. Significance of preoperative fluorodeoxyglucose-positron emission tomography in prediction of tumor recurrence after liver transplantation for hepatocellular carcinoma patients: A Japanese multicenter study. *J Hepatobiliary Pancreat Sci.* 2017 Jan ; 24(1) 49-57
6. Shindo Y, Hazama S, Suzuki N, Iguchi H, Uesugi K, Tanaka H, Aruga A, Hatori T, Ishizaki H, Umeda Y, Fujiwara T, Ikemoto T, Shimada M, Yoshimatsu K, Takenouchi H, Matsui H, Kanekiyo S, Iida M, Koki Y, Arima H, Furukawa H, Ueno T, Yoshino S, Fujita T, Kawakami Y, Nakamura Y, Oka M, Nagano H. Predictive biomarkers for the efficacy of peptide vaccine treatment :based on the results of a phase II study on advanced pancreatic cancer. *J Exp Clin Cancer Res.* 2017 Feb ; 36(1) 36
7. Inoue Y, Hazama S, Suzuki N, Tokumitsu Y, Kanekiyo S, Tomochika S, Tsunedomi R, Tokuhisa Y, Iida M, Sakamoto K, Takeda S, Ueno T, Yoshino S, Nagano H. Cetuximab strongly enhances immune cell infiltration into liver metastatic sites in colorectal cancer. *Cancer Sci.* 2017 Mar ; 108(3) 455-460
8. Ueno T, Iida M, Yoshino S, Takeda S, Kubota H, Higashida M, Oka Y, Tsuruta A, Matsumoto H, Nagano H. East Versus West: Differences in Surgical Management in Asia Compared with Europe and North America. *Surg Clin North Am.* 2017 Apr ; 97(2) 453-466
9. Kawazu M, Kojima S, Ueno T, Totoki Y, Nakamura H, Kunita A, Qu W, Yoshimura J, Soda M, Yasuda T, Hama N, Saito-Adachi M, Sato K, Kohsaka S, Sai E, Ikemura M, Yamamoto S, Ogawa T, Fukayama M, Tada K, Seto Y, Morishita S, Hazama S, Shibata T, Yamashita Y, Mano H. Integrative analysis of genomic alterations in triple-negative breast cancer in association with homologous recombination deficiency. *PLoS Genet.* 2017 Jun ; 13(6) e1006853
10. Suto T, Ishiguro M, Hamada C, Kunieda K, Masuko H, Kondo K, Ishida H, Nishimura G, Sasaki K, Morita T, Hazama S, Maeda K, Mishima H, Ike H, Sadahiro S, Sugihara K, Okajima M, Saji S, Sakamoto J, Tomita N. Preplanned safety analysis of the JFMC37-0801 trial: a randomized phase III study of six months versus twelve months of capecitabine as adjuvant chemotherapy for stage III colon cancer. *Int J Clin Oncol.* 2017 Jun ; 22(3) 494-504
11. Tsunedomi R, Hazama S, Okayama N, Oka M, Nagano H. Rapid and sensitive detection of UGT1A1 polymorphisms associated with irinotecan toxicity by a novel DNA microarray. *Cancer Sci.* 2017 Jul ; 108(7) 1504-1509

12. Konagai A, Yoshimura K, Hazama S, Yamamoto N, Aoki K, Ueno T, Fujioka M, Iijima H, Kato M, Uchida M, Wada T, Inoue M, Asao T, Fuse M, Wada S, Kuramasu A, Kamei R, Takeda S, Yamamoto S, Yoshino S, Oka M, Nagano H. Correlation between NKG2DL expression and antitumor effect of protein-bound polysaccharide-k in tumor-bearing mouse models. *Anticancer Res.* 2017 Aug ; 37(8) 4093-4101
13. Matsui H, Hazama S, Sakamoto K, Shindo Y, Kanekiyo S, Nakashima M, Matsukuma S, Tokuhisa Y, Iida M, Suzuki N, Yoshimura K, Takeda S, Ueno T, Yoshino S, Oka M, Nagano H. Post-Operative adjuvant therapy for resectable pancreatic cancer with gemcitabine and adoptive immunotherapy. *Pancreas.* 2017 Sep ; 46(8) 994-1002
14. Sakamoto K, Nagano H. Surgical treatment for advanced hepatocellular carcinoma with portal vein tumor thrombus. *Hepatol Res.* 2017 Sep ; 47(10) 957-962
15. Nagashima Y, Yoshino S, Yamamoto S, Maeda N, Azumi T, Komoike Y, Okuno K, Iwasa T, Tsurutani J, Nakagawa K, Oka M, Nagano H. Lentinula edodes mycelia extract plus adjuvant chemotherapy for breast cancer patients: Results of a randomized study on host quality of life and immune function improvement. *Mol Clin Oncol.* 2017 Sep ; 7(3) 359-366
16. Furukawa K, Tanemura M, Miyoshi E, Eguchi H, Nagano H, Matsunami K, Nagaoka S, Yamada D, Asaoka T, Noda T, Wada H, Kawamoto K, Goto K, Taniyama K, Mori M, Doki Y. A practical approach to pancreatic cancer immunotherapy using resected tumor lysate vaccines processed to express -gal epitopes. *PLoS One.* 2017 Oct ; 12(10) e0184901
17. Egawa M, Yoshida Y, Ogura S, Kurahashi T, Kizu T, Furuta K, Kamada Y, Chatani N, Hamano M, Kiso S, Hikita H, Tatsumi T, Eguchi H, Nagano H, Doki Y, Mori M, Takehara T. Increased FoxM1 expression is associated with clinicopathological features and confers a poor prognosis in human hepatocellular carcinoma. *Hepatol Res.* 2017 Oct ; 47(11) 1196-1205
18. Tanaka H, Hazama S, Iida M, Tsunedomi R, Takenouchi H, Nakajima M, Tokumitsu Y, Kanekiyo S, Shindo Y, Tomochika S, Tokuhisa Y, Sakamoto K, Suzuki N, Takeda S, Yamamoto S, Yoshino S, Ueno T, Hamamoto Y, Fujita Y, Tanaka H, Tahara K, Shimizu R, Okuno K, Fujita K, Kuroda M, Nakamura Y, Nagano H. miR-125b-1 and miR-378a are predictive biomarkers for the efficacy of vaccine treatment against colorectal cancer. *Cancer Sci.* 2017 Nov ; 108(11) 2229-2238
19. Yamamoto S, Maeda N, Nagashima Y, Kubo H, Sato Y, Matsui H, Inoue Y, Shindo Y, Kanekiyo S, Sakamoto K, Suzuki N, Takeda S, Ueno T, Yoshino S, Hazama S, Oka M, Nagano H. A phase II, multicenter, single-arm study of tri-weekly low-dose nanoparticle albumin-bound paclitaxel chemotherapy for patients with metastatic or recurrent breast cancer. *Breast Cancer.* 2017 Nov ; 24(6) 783-789
20. Jang JY, Park T, Lee S, Kim Y, Lee SY, Kim SW, Kim SC, Song KB, Yamamoto M, Hatori T, Hirono S, Sato S, Fujii T, Hirano S, Hashimoto Y, Shimizu Y, Choi DW, Choi SH, Heo JS, Motoi F, Matsumoto I, Lee WJ, Kang CM, Han HS, Yoon YS, Sho M, Nagano H, Honda G, Kim SG, Yu HC, Chung JC, Nagakawa Y, Seo HI, Yamaue H. Proposed Nomogram Predicting the Individual Risk of Malignancy in the Patients With Branch Duct Type Intraductal Papillary Mucinous Neoplasms of the Pancreas. *Ann Surg.* 2017 Dec ; 266(6) 1062-1068
21. Nakajima M, Ueno T, Suzuki N, Matsui H, Shindo Y, Sakamoto K, Tokuhisa Y, Tokumitsu Y, Takeda S, Yoshino S, Hazama S, Nagano H. Novel indications for surgical resection of metachronous lung metastases from pancreatic cancer after curative resection. *J Clin Gastroenterol.* 2017 ; 51(5) e34-e38
22. Shindo Y, Hazama S, Nakamura Y, Inoue Y, Kanekiyo S, Suzuki N, Takenouchi H, Tsunedomi R, Nakajima M, Ueno T, Takeda S, Yoshino S, Okuno K, Fujita Y, Hamamoto Y, Kawakami Y, Oka M, Nagano H. miR-196b, miR-378a and miR-486 are predictive biomarkers for the efficacy of vaccine treatment in colorectal cancer. *Oncology Letters.* 2017 ; 14 1355-1362

# 和文論文

1. 久保秀文、木村祐太、河岡 徹、宮原 誠、清水良一、長島由紀子、山本 滋、永野浩昭 エベロリムス/エキセメスタンが奏効した乳癌術後骨転移の1例 癌と化学療法 第44巻 第2号 2017年2月 157-160
2. 久保秀文、木村祐太、河岡 徹、長島由紀子、山本 滋、永野浩昭 S-1 長期投与を含む集学的治療により長期生存を得ている再発乳癌の1例 臨床外科 第72巻 第2号 2017年2月 株式会社 医学書院 232-236
3. 徳久晃弘、上野富雄、新藤芳太郎、鈴木伸明、武田 茂、永野浩昭 腸間膜脂肪織炎との鑑別に苦慮した悪性腹膜中皮腫の1例 日本臨床外科学会雑誌 第78巻 4号 2017年4月 日本臨床外科学会 210-214
4. 上野富雄、中尾光宏、藤原由規、鶴田 淳、岡田敏正、岡 保夫、東田正陽、窪田寿子、渡邊裕策、浦岡未央、岡本由佑子、峯田修明、永野浩昭 短腸症候群の再生治療 小児外科 第49巻 第6号 2017年6月 595-598
5. 上野富雄、岡田敏正、坂本和彦、松井洋人、峯田修明、岡本由佑子、浦岡未央、窪田寿子、渡邊裕策、東田正陽、岡 保夫、鶴田 淳、藤原由規、永野浩昭 特許化した吻合補助器を用いた主膵管貫通式縫合系留置法による膵管空腸吻合 消化器外科 8月号 第40巻 第9号 (通巻第504号) 2017年8月 へるす出版 1245-1255
6. 鈴木伸明、永野浩昭 外科と免疫・遺伝子 ナースの外科学 改訂7版 2017年9月 株式会社中外医学社 65-75
7. 久保秀文、木村祐太、山下吉美、長島由紀子、山本 滋、永野浩昭 乳癌術後5年以上経過して唾液腺転移をきたした1例 臨床外科 第72巻 第9号 2017年9月 株式会社 医学書院 1145-1149
8. 松井洋人、坂本和彦、松隈 聡、徳光幸生、徳久善弘、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 診断に難渋した膵腺房細胞癌の1切除例 癌と化学療法 第44巻 第12号 2017年11月 1235-1237
9. 前田訓子、山本 滋、佐藤陽子、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、長島由紀子、久保秀文、永野浩昭 転移・再発乳癌に対するエベロリムス+エキセメスタン治療の有用性と安全性についての検討 癌と化学療法 第44巻 第12号 2017年11月 1260-1262
10. 中島千代、鈴木伸明、友近忍、田中宏典、徳光幸生、兼清信介、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 Conversion Surgery を施行し得た大腸癌多発肝転移の1例 癌と化学療法 第44巻 第12号 2017年11月 1272-1274
11. 友近 忍、鈴木伸明、田中宏典、井上由佳、徳光幸生、兼清信介、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 大腸癌同時性肝転移に対する腹腔鏡下同時切除の2例 癌と化学療法 第44巻 第12号 2017年11月 1278-1280
12. 藤本拓也、鈴木伸明、友近 忍、田中宏典、松井洋人、坂本和彦、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、石橋治昭、米村 豊、上野富雄、永野浩昭 集学的治療が奏効した大腸癌腹膜播種の1例 癌と化学療法 第44巻 第12号 2017年11月 1704-1707
13. 関矢まり、坂本和彦、松隈 聡、徳久善弘、徳光幸生、松井洋人、兼清信介、友近 忍、飯田通久、武田 茂、鈴木伸明、吉野茂文、碓 彰一、星井嘉信、永野浩昭 Ductal Plate Malformation 様構造を示した特殊型肝内胆管癌の1例 癌と化学療法 第44巻 第12号 2017年11月 1877-1879
14. 長島由紀子、千々松日香里、古谷 圭、近藤潤也、前田祥成、蘓村秀明、竹本紀一、矢原 昇、安部俊弘、林 弘人、久保秀文、山本 滋、永野浩昭 乳癌術後補助化学療法 (TC療法) におけるPegfilgrastim 一次予防的投与の Relative Dose Intensity (RDI) に及ぼす効果 癌と化学療法 第44巻 第13号 2017年12月 2087-2090

# 国際学会発表・司会

American Association For Cancer Research Annual Meeting 2017 4/1-4/5 Washington, D.C., USA

1. Matsukuma S, Yoshimura K, Oga A, Inoue M, Fujimoto T, Kuramasu A, Fuse M, Tsunedomi R, Eguchi H, Matsui H, Kanekiyo S, Tokumitsu Y, Tomochika S, Iida M, Tokuhisa Y, Sakamoto K, Suzuki N, Furuya-Kondo T, Itoh H, Takeda S, Yamamoto S, Yoshino S, Hazama S, Ueno T, Nagano H. The significance of calreticulin in pancreatic cancer: a molecule highly expressed in pancreatic cancer stem-like cells Poster Session

ASCO Annual Meeting 6/2-6/6 Chicago, USA

1. Matsui H, Hazama S, Tamada K, Udaka K, Koki Y, Uematsu T, Arima H, Furukawa H, Miyakawa T, Doi S, Kitahara M, Kanekiyo S, Tokumitsu Y, Tokuhisa Y, Sakamoto K, Suzuki N, Takeda S, Yamamoto S, Yoshino S, Nagano H. A phase I study of novel multi-HLA-binding peptides and a new combination of immune adjuvants against solid tumors Poster Session

ESMO 2017 9/8-9/12 Congress Madrid, Spain

1. Mori Y, Suzuki N, Nagasaka T, Tanioka H, Iwamoto Y, Neki Y, Yamatsuji T, Kobayashi M, Nakajima M, Ojima Y, Ikeda S, Kawamoto K, Shinozaki K, Tsuji A, Hinoi T, Yamaguchi Y, Yamashita K, Shimokawa M, Okajima M, Hazama S. Multicenter phase II study of biweekly XELIRI plus bevacizumab as a second-line therapy in patients with metastatic colorectal cancer (JSWOG-C3 study) Poster Display Session
2. Nishikawa K, Yoshino S, Morita S, Takahashi T, Sakata K, Nagao J, Nemoto H, Murakami N, Hasegawa H, Shimizu R, Yoshikawa T, Osanai H, Imano M, Naitoh H, Tanaka A, Sakamoto J, Saji S, Oka M. Safety and efficacy of S-1 treatment in elderly patients with advanced or recurrent gastric cancer : a subgroup analysis from the phase III JFMC36-0701 trial Poster Display Session

ASIAN PACIFIC DIGESTIVE WEEK (APDW) 2017 9/23-9/26 Hong Kong

1. Kanekiyo S, Hazama S, Takenouchi H, Nakajima M, Shindo Y, Matsui H, Tokumitsu Y, Tomochika S, Tokuhisa Y, Iida M, Sakamoto K, Suzuki N, Takeda S, Yamamoto S, Ueno T, Yoshino S, Sugiura F, Okuno K, Udaka K, Fujita T, Kawakami Y, Mtsueda T, Ito K, Nagano H. IgG response to class I epitope peptides is a quantitative predictive biomarker in early course of treatment in colorectal cancer treated by therapeutic peptides with oxaliplatin-based chemotherapy Pure E-Poster

25th United European Gastroenterology Week Barcelona 10/28-11/1 Barcelona, Spain

1. Tsunedomi R, Yoshimura K, Nishiyama M, Matsukuma S, Kanekiyo S, Tokumitsu Y, Tomochika S, Tokuhisa Y, Iida M, Sakamoto K, Suzuki N, Takeda S, Yamamoto S, Yoshino S, Hazama S, Ueno T, Nagano H. Responsible genes for characteristics of the induced cancer stem-like sphere cells of hepatocellular carcinoma Oral

# 国内学会発表・司会

## 第53回日本腹部救急医学会総会 3/2-3/3 神奈川

1. 永野浩昭 一般演題(口演) 50 脾 司会
2. 徳光幸生、坂本和彦、松隈 聡、松井洋人、徳久善弘、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における敗血症性ショックに対するPMX-DHP 施行例の予後因子に関する検討 ワークショップ
3. 友近 忍、武田 茂、鈴木伸明、桑原太一、徳光幸生、兼清信介、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、山本 滋、吉野茂文、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 急性腹症を契機に発見された肺癌小腸転移の1症例 一般演題(口演)
4. 田中宏典、武田 茂、鈴木伸明、友近 忍、徳光幸生、兼清信介、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、山本 滋、吉野茂文、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 救命し得た劇症型アメーバ性大腸炎の1例 一般演題(口演)
5. 桑原太一、武田 茂、兼清信介、徳光幸生、友近 忍、飯田通久、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、山本 滋、裕 彰一、吉野茂文、上野富雄、永野浩昭 血球貪食症候群、急性腎不全、筋炎を合併したサイトメガロウイルス腸炎の一例 一般演題(口演)

## 第89回日本胃癌学会総会 3/8-3/10 広島

1. 吉野茂文 一般演題 口演 フォローアップ 座長
2. 飯田通久、武田 茂、兼清信介、西山光郎、北原正博、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、山本 滋、吉野茂文、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 VFA はLADG術後腹腔内感染性合併症のリスクファクターとなりうる ポスター
3. 西山光郎、武田 茂、飯田通久、北原正博、兼清信介、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、上野富雄、山本 滋、吉野茂文、裕 彰一、永野浩昭 VPシャントを有する胃癌患者に対して腹腔鏡補助下幽門側胃切除術を施行した1例 ポスター

## 第103回日本消化器病学会総会 4/20-4/22 東京

1. 富丸慶人、松原徳周、西田 勉、野口幸蔵、足立史朗、井岡達也、波多野悦朗、永野浩昭、金井雅史、堂野恵三 全身化学療法(GCS療法)が著効し組織学的CRが得られた大動脈周囲リンパ節転移を伴った肝門部領域胆管癌の1切除例 一般演題(ポスター)

## 第117回日本外科学会定期学術集会 4/27-4/29 神奈川

1. 永野浩昭 [MR-3] 医療リスク(3) 肝胆膵外科 司会
2. 永野浩昭 [PD-12] パネルディスカッション(12) 大腸癌肝転移に対する集学的治療としての肝切除の役割 司会
3. 裕 彰一 [SF-58] サージカルフォーラム(58) 直腸-肛門温存 司会
4. 関矢まり、武田 茂、兼清信介、西山光郎、北原正博、飯田通久、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、山本 滋、吉野茂文、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 術前化学療法施行食道癌症例におけるFDG-PETの有用性 ポスターセッション
5. 武田 茂、兼清信介、飯田通久、北原正博、西山光郎、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、山本 滋、吉野茂文、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 チーム医療導入による食道癌周術期管理の検討 ポスターセッション
6. 兼清信介、武田 茂、飯田通久、西山光郎、北原正博、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、山本 滋、吉野茂文、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 食道癌手術に対する周術期 Immunonutrition の有用性 ポスターセッション
7. 鈴木伸明、友近 忍、井上由佳、田中宏典、中須賀千代、中島正夫、藤本拓也、松隈 聡、北原正博、松井洋人、兼清信介、徳光幸生、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 肝転移を有する大腸癌に対する当科の治療戦略 ポスターセッション
8. 藤本拓也、坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、桑原太一、中島正夫、松井洋人、松隈 聡、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における肝内胆管癌手術症例の臨床病理学的検討 ポスターセッション
9. 藤原康弘、坂本和彦、徳久善弘、中島正夫、松隈 聡、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、友近 忍、兼清伸介、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 肝切除患者における鼻腔内MRSA 保菌と術後MRSA 感染症との関係 ポスターセッション
10. 山田健介、坂本和彦、松井洋人、松隈 聡、兼清信介、友近 忍、徳光幸生、徳久善弘、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 臍頭十二指腸切除術後臍液瘻と肥満との関連性の検討 ポスターセッション

11. 吉野茂文、武田 茂、飯田通久、兼清信介、北原正博、西山光郎、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、上野富雄、山本 滋、碓 彰一、永野浩昭 内視鏡手術から学ぶ開腹胃上部郭清の発想転換 ポスターセッション
12. 友近 忍、鈴木伸明、碓 彰一、井上由佳、田中宏典、中島正夫、徳光幸生、兼清信介、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田茂、山本 滋、吉野茂文、上野富雄、永野浩昭 下部進行直腸癌に対する側方リンパ節郭清術の手法・成績 ポスターセッション
13. 山本 滋、佐藤陽子、前田訓子、関矢まり、中須賀千代、西山光郎、北原正博、井上由佳、長島由紀子、久保秀文、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、永野浩昭 術前画像診断による乳癌センチネルリンパ節生検省略の可能性 ポスターセッション
14. 北原正博、碓 彰一、恒富亮一、中島正夫、田中宏典、松井洋人、兼清信介、徳光幸生、友近 忍、飯田通久、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、上野富雄、杉浦史哲、奥野清隆、河上 裕、永野浩昭 免疫療法効果予測バイオマーカーとしての血中cell-free DNA integrity ポスターセッション
15. 中島正夫、吉野茂文、飯田通久、兼清信介、前田訓子、西山光郎、北原正博、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、山本 滋、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 胃癌患者における腫瘍周囲間質のSPARC 高発現は予後良好因子である ポスターセッション
16. 西山光郎、武田 茂、北原正博、兼清信介、飯田通久、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、上野富雄、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、永野浩昭 食道癌術後再発症例の検討 ポスターセッション
17. 松隈 聡、坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、松井洋人、山田健介、桑原太一、中島正夫、藤本拓也、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 4 個以上 (vp0-1) 多発肝癌 (BCLC intermediate stage) に対する肝切除の意義と適応 ポスターセッション
18. 徳久善弘、坂本和彦、徳光幸生、松隈 聡、中島正夫、松井洋人、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 再肝切除症例に対する腹腔鏡下アプローチの検討 ポスターセッション
19. 坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、中島正夫、藤本拓也、松隈 聡、松井洋人、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、上野富雄、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、永野浩昭 安全性を考慮した腹腔鏡下肝切除の導入 ポスターセッション
20. 桑原太一、坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、中島正夫、藤本拓也、松隈 聡、松井洋人、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 肝切除における胆汁中微生物のモニタリングの意義 ポスターセッション
21. 飯田通久、武田 茂、兼清信介、西山光郎、松井洋人、北原正博、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、山本 滋、碓 彰一、吉野茂文、上野富雄、永野浩昭 当科における膵・消化管神経内分泌腫瘍 (NET) の外科的切除例の検討 ポスターセッション
22. 永野浩昭 [MR-10] 医療リスク (10) 肝胆膵外科 統括報告 中須賀千代、鈴木伸明、桑原太一、藤原康弘、田中宏典、井上由佳、友近 忍、中島正夫、西山光郎、松井洋人、徳光幸生、兼清信介、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 直腸脱に対する腹腔鏡下直腸固定術の成績と再発例の検討 サージカルフォーラム
23. 前田訓子、山本 滋、佐藤陽子、関矢まり、中須賀千代、西山光郎、北原正博、井上由佳、長島由紀子、久保秀文、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、永野浩昭 Triple negative 乳癌における SPARC 発現と予後の関連 サージカルフォーラム

### 第38回癌免疫外科研究会 5/25-5/26 岡山

1. 碓 彰一 一般演題 (口演) 3 「バイオマーカー4」 司会
2. 北原正博、碓 彰一、恒富亮一、竹之内寛子、桑原太一、中島正夫、田中宏典、松井洋人、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、上野富雄、杉浦史哲、奥野清隆、河上 裕、永野浩昭 結腸直腸癌患者の血漿中の cell-free DNA integrity を測定することによる免疫療法の有効性の予測 要望演題
3. 田中宏典、碓 彰一、鈴木伸明、友近 忍、兼清信介、松井洋人、中島正夫、桑原太一、徳光幸生、坂本和彦、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、藤田知信、河上 裕、奥野清隆、玉田耕治、上野富雄、永野浩昭 がんの抑制性免疫制御を目的とした大腸がんに対する複合免疫療法第I相試験 主題
4. 竹之内寛子、碓 彰一、兼清信介、中島正夫、松井洋人、北原正博、田中宏典、桑原太一、鈴木伸明、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、奥野清隆、田中浩明、藤田知信、河上 裕、伊東恭吾、永野浩昭 大腸がんに対するペプチド療法により血中に誘導された抗ペプチド抗体の解析 要望演題
5. 中島正夫、碓 彰一、竹之内寛子、兼清信介、松井洋人、桑原太一、友近 忍、鈴木伸明、武田 茂、上野富雄、山本 滋、吉野茂文、奥野清隆、田中浩明、藤田知信、河上 裕、永野浩昭 大腸癌ペプチドワクチン療法において末梢血リンパ球上の表面抗原は治療効果予測マーカーとなりうる 要望演題
6. 友近 忍、碓 彰一、鈴木伸明、中島正夫、田中宏典、北原正博、松井洋人、徳光幸生、兼清信介、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田 茂、上野富雄、山本 滋、吉野茂文、永野浩昭 化学療法奏効例より見た、Cetuximabによる免疫的作用機序の病理学的検討 一般演題 (口演)

7. 川村純一郎、杉浦史哲、助川寧、肥田仁一、碓 彰一、奥野清隆、StageIII大腸癌根治術後患者に対するUFT/LV併用ペプチドワクチン療法の臨床的有効性と安全性の検討 -多施設共同第2相臨床試験- 一般演題(口演)
8. 兼清信介、碓 彰一、松井洋人、鈴木伸明、中島正夫、友近 忍、徳光幸生、坂本和彦、飯田通久、徳久善弘、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、玉田耕治、永野浩昭 消化器がんに対する新規がんペプチドワクチン療法の開発と展開 一般演題(口演)
9. 松井洋人、碓 彰一、玉田耕治、宇高恵子、宮川知也、土肥 俊、中島正夫、松隈 聡、兼清信介、徳光幸生、新藤芳太郎、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、上野富雄、永野浩昭 肝細胞癌(HCC)に対するHSP70由来新規エプトープペプチドの探索と同定 一般演題(口演)
10. 鈴木伸明、碓 彰一、新藤芳太郎、竹之内寛子、中島正夫、松井洋人、北原正博、兼清信介、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、藤田知信、河上 裕、上野富雄、永野浩昭 がんペプチドワクチン療法におけるCTL誘導を予測する因子の検討 要望演題
11. 桑原太一、碓 彰一、鈴木伸明、中島正夫、松井洋人、徳光幸生、兼清信介、友近 忍、飯田通久、徳久善弘、坂本和彦、武田 茂、上野富雄、山本 滋、吉野茂文、藤田知信、河上 裕、永野浩昭 治癒切除大腸癌における免疫関連予後因子の検討 一般演題(口演)

#### 第71回手術手技研究会 5/26-5/27 愛知

1. 藤原康弘、鈴木伸明、友近 忍、田中宏典、徳光幸生、兼清信介、徳久善弘、飯田通久、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 右側結腸癌に対する頭側アプローチ先行による安全性向上と定型化 サージカルフォーラム
2. 飯田通久、武田 茂、兼清信介、西山光郎、松井洋人、北原正博、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 腹腔鏡下幽門側胃切除術に術前Visceral fatarea (VFA) がおよぼす影響について サージカルフォーラム
3. 佐藤陽子、山本 滋、前田訓子、関矢まり、中須賀千代、西山光郎、北原正博、長島由紀子、久保秀文、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、永野浩昭 当科で開発した乳腺円状部分切除補助器具を用いた乳房温存手術手技 サージカルフォーラム

#### 第26回日本癌病態治療研究会 6/1-6/2 神奈川

1. 田中宏典、碓 彰一、松井洋人、徳光幸生、兼清信介、友近 忍、恒富亮一、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、上野富雄、山本 滋、吉野茂文、藤田浩司、黒田雅彦、奥野清隆、河上 裕、永野浩昭 大腸がんワクチン療法におけるmiR-125b-1, miR-378a の治療効果予測マーカーとしての有用性~ Laser capture microdissection 法による癌細胞・間質細胞分離の応用~ ポスター

#### 第6回アジア太平洋肝胆膵学会 第29回日本肝胆膵外科学会学術集会 6/7-6/10 神奈川

1. 永野浩昭 Debate Session 2 Should a Split Procedure Always be Considered in DDLT 司会
2. 永野浩昭 Evening Seminar 1 [ English ] 座長
3. 永野浩昭 Post Graduate Course 2 Liver 司会
4. Tokuhiisa Y, Sakamoto K, Tokumitsu Y, Suzuki N, Takeda S, Yoshino S, Hazama S, Ueno T, Nagano H Surgical outcomes of laparoscopic repeated liver resection Oral
5. Matsui H, Sakamoto K, Tokuhiisa Y, Tokumitsu Y, Matsukuma S, Takeda S, Yoshino S, Hazama S, Ueno T, Nagano H Perioperative and intraoperative risk factors for pancreatic fistula after distal pancreatectomy Oral
6. Nakajima M, Sakamoto K, Tokuhiisa Y, Tokumitsu Y, Suzuki N, Takeda S, Ueno T, Yoshino S, Hazama S, Nagano H Surgical outcomes of patients with hepatitis-c-virus positive hepatocellular carcinoma after achieving a sustained virological response Oral
7. Matsukuma S, Sakamoto K, Tokumitsu Y, Tokuhiisa Y, Matsui H, Suzuki N, Takeda S, Ueno T, Nagano H Outcomes after hepatectomy for multinodular hepatocellular carcinoma in intermediate stage of barcelona clinic liver cancer (BCLC-B) classification Oral
8. Tokumitsu Y, Sakamoto K, Tokuhiisa Y, Matsukuma S, Matsui H, Suzuki N, Takeda S, Ueno T, Nagano H Pure laparoscopic approaches to subsegmentectomy in the inferior segment of the right hepatic lobe Video
9. Fujimoto T, Sakamoto K, Tokuhiisa Y, Tokumitsu Y, Suzuki N, Takeda S, Yoshino S, Hazama S, Ueno T, Nagano H A study of risk factors of NAFLD onset after pancreaticoduodenectomy in our department Poster
10. Sakamoto K, Tokuhiisa Y, Tokumitsu Y, Suzuki N, Takeda S, Yoshino S, Hazama S, Ueno T, Nagano H Risk factors of pancreatic fistula after pancreaticoduodenectomy Poster

### 第71回日本食道学会学術集会 6/15-6/16 長野

1. 兼清信介、碓 彰一、武田 茂、飯田通久、松井洋人、坂本和彦、鈴木伸明、吉野茂文、玉田耕治、永野浩昭 食道癌を含む消化器がんに対する新規がんペプチドワクチン療法の開発と展開 ワークショップ
2. 武田 茂、兼清信介、北原正博、飯田通久、坂本和彦、鈴木伸明、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 胸腔鏡下食道切除術における術野展開の工夫と定型化 一般演題ポスター
3. 中須賀千代、武田 茂、北原正博、兼清信介、飯田通久、坂本和彦、鈴木伸明、吉野茂文、碓 彰一、永野浩昭 食道癌小腸転移の一例 一般演題ポスター
4. 西山光郎、武田 茂、兼清信介、飯田通久、坂本和彦、鈴木伸明、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 胸部中部食道癌における術中迅速を用いた郭清範囲の個別化の検討 一般演題ポスター
5. 北原正博、武田 茂、西山光郎、兼清信介、飯田通久、坂本和彦、鈴木伸明、吉野茂文、碓 彰一、永野浩昭 同時性重複癌を有する食道癌手術症例の検討 一般演題ポスター

### 第34回日本胆膵病態・生理研究会 6/17 福井

1. 松井洋人、坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、松隈 聡、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、永野浩昭 当科における切除可能境界膵癌に対する術前ゲムシタピン+ナブパクリタキセル療法の経験 一般演題
2. 松隈 聡、吉村 清、小賀厚徳、井上萌子、布施雅規、恒富亮一、江口英利、藤本拓也、松井洋人、徳光幸生、徳久善弘、坂本和彦、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 膵癌幹細胞の新たな表面マーカーcalreticulinの同定 一般演題

### 第39回日本癌局所療法研究会 6/23 京都

1. 永野浩昭 一般演題 肝胆1 座長
2. 山田健介、鈴木伸明、友近 忍、田中宏典、徳光幸生、兼清信介、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 腹腔鏡下に切除しえた左側大腸癌イレウスの3 例 主題関連
3. 前田訓子、山本 滋、佐藤陽子、関矢まり、中須賀千代、西山光郎、北原正博、長島由紀子、久保秀文、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、永野浩昭 当科における進行・再発乳癌に対するエペロリムス+エキセメスタンの使用経験 一般演題
4. 関矢まり、坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、松隈 聡、松井洋人、兼清信介、友近 忍、飯田通久、武田 茂、鈴木伸明、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、星井善信、上野富雄、永野浩昭 Ductal plate malformation 様構造を示した特殊型肝内胆管癌の1 例 一般演題
5. 松井洋人、坂本和彦、松隈 聡、徳光幸生、徳久善弘、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 術前診断に難渋した膵腺房細胞癌の一例 一般演題
6. 北原正博、武田 茂、飯田通久、兼清信介、西山光郎、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 腸閉塞により発症した食道癌小腸転移の一例 ポスター
7. 中須賀千代、鈴木伸明、友近 忍、田中宏典、西山光郎、松隈 聡、北原正博、松井洋人、前田訓子、徳光幸生、兼清信介、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 化学療法が著効し、Conversion した大腸癌多発肝転移の一例 ポスター
8. 藤本拓也、鈴木伸明、友近 忍、兼清信介、徳光幸生、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、石橋治昭、米村 豊、上野富雄、永野浩昭 集学的治療が奏効した大腸癌腹膜播種の一例 ポスター
9. 友近 忍、鈴木伸明、田中宏典、井上由佳、徳光幸生、兼清信介、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田 茂、上野富雄、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、永野浩昭 大腸癌同時性肝転移に対する腹腔鏡下同時切除の2 例 ポスター

### 第21回日本がん免疫学会総会 6/28-6/30 千葉

1. 中島正夫、碓 彰一、玉田耕治、宇高恵子、構木泰信、植松俊成、有馬秀樹、古川裕之、宮川知也、土肥 俊、松井洋人、飯田通久、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、上野富雄、永野浩昭 A phase i study of multi-HLA-binding peptides and a new combination of immune adjuvants against gastrointestinal cancer 一般演題

### 第42回日本外科系連合学会学術集会 6/28-6/30 徳島

1. 碓 彰一 一般口演4 他科連携手術1 座長
2. 吉野茂文 一般口演8 周術期連携1 座長
3. 永野浩昭 ワークショップ11 医工連携 座長
4. 鈴木伸明、碓 彰一、兼清信介、松井洋人、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、玉田耕治、上野富雄、永野浩昭 新規アジュバントを用いたがんペプチド療法の第 相試験 シンポジウム

5. 武田 茂、兼清信介、飯田通久、北原正博、西山光郎、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 食道癌周術期管理におけるチーム医療の実践 ワークショップ
6. 田中宏典、鈴木伸明、友近 忍、徳光幸生、兼清信介、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における大腸癌他臓器合併切除例の検討 - 骨盤内における他科との連携 - 一般口演
7. 北原正博、武田 茂、飯田通久、兼清信介、西山光郎、友近 忍、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 頭頸部同時性重複癌を有する食道癌手術症例の検討 一般口演
8. 西山光郎、武田 茂、兼清信介、飯田通久、北原正博、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 高齢者に対する食道癌周術期口腔ケアの検討 一般口演
9. 徳久善弘、坂本和彦、徳光幸生、松井洋人、松隈 聡、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における肝細胞癌に対する腹腔鏡下肝切除の手術成績 ポスター
10. 山本 滋、前田訓子、佐藤陽子、関矢まり、中須賀千代、西山光郎、北原正博、長島由紀子、久保秀文、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、永野浩昭 乳癌手術における乳腺円状部分切除補助器具の開発 ワークショップ
11. 佐藤陽子、山本 滋、前田訓子、関矢まり、中須賀千代、西山光郎、北原正博、長島由紀子、久保秀文、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、永野浩昭 乳頭乳輪温存乳房切除術（NSM）症例の検討 ポスター
12. 上野富雄、坂本和彦、鈴木康二、角南数磨、野利本悠、岡田敏正、松井洋人、鈴木伸明、渡邊裕策、窪田寿子、東田正陽、岡 保夫、鶴田 淳、岡 正朗、永野浩昭 膵臓外科における医工連携 ワークショップ

### 第53回日本肝癌研究会 7/6-7/7 東京

1. 永野浩昭 パネルディスカッション4 高度進行肝細胞癌（Vp3以上、Vv2以上）に対する集学的治療：エビデンスとコンセンサス
2. 徳光幸生、坂本和彦、徳久善弘、松隈 聡、松井洋人、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 腹腔鏡下系統的肝切除を安全・確実に行うための手術手技の工夫と現状 ワークショップ
3. 坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、中島正夫、藤本拓也、松隈 聡、松井洋人、鈴木伸明、武田 茂、上野富雄、吉野茂文、碓 彰一、永野浩昭 高度脈管侵襲を伴う肝細胞癌に対する外科治療成績 パネルディスカッション
4. 松隈 聡、坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、松井洋人、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、星井嘉信、上野富雄、永野浩昭 症例 症例検討会
5. 松井洋人、坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、松隈 聡、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 再肝切除症例に対する腹腔鏡下アプローチの治療成績 一般演題
6. 徳久善弘、坂本和彦、佐伯一成、徳光幸生、松隈 聡、松井洋人、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、坂井田功、永野浩昭 超高齢者に対する肝細胞癌の治療成績 パネルディスカッション
7. 永野浩昭、江口英利、小林省吾、和田浩志、松隈 聡、波多野悦朗、井岡達也 肝内胆管がんに対する治療 基調講演

### 第87回大腸癌研究会 7/7 三重

1. 友近 忍、鈴木伸明、田中宏典、徳光幸生、兼清信介、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における大腸癌同時性肝転移に対する腹腔鏡下同時切除の検討 示説
2. 田中宏典、碓 彰一、鈴木伸明、恒富亮一、徳光幸生、兼清信介、友近 忍、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田 茂、吉野茂文、上野富雄、永野浩昭 大腸癌ペプチド療法の効果を予測するバイオマーカーとしての末梢血microRNAの役割 示説

### 第72回日本消化器外科学会総会 7/20-7/22 石川

1. 武田 茂 一般演題(ミニオーラル) 胃・十二指腸：胃・栄養3 座長
2. 永野浩昭 シンポジウム4[ENGLISH] 安全・安心な臓器移植のために出来ること 司会
3. 碓 彰一 特別企画4 がん免疫療法の進歩とさらなるステップアップ 司会
4. 吉野茂文 一般演題(ミニオーラル) 食道：食道癌の集学的治療1 座長
5. 関矢まり、武田茂、飯田通久、兼清信介、坂本和彦、鈴木伸明、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 術前 Visceral fat area(VFA)と腹腔鏡下幽門側胃切除術の周術期成績の関係 一般演題(ミニオーラル)
6. 中須賀千代、武田 茂、飯田通久、兼清信介、坂本和彦、鈴木伸明、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における胃 GIST 手術症例の検討 要望演題
7. 恒富亮一、碓 彰一、岡山直子、友近 忍、鈴木伸明、坂本和彦、飯田通久、武田 茂、吉野茂文、永野浩昭 イリノテカン治療バイオマーカーとして新たに同定された遺伝子多型 要望演題
8. 藤原康弘、鈴木伸明、田中宏典、友近 忍、坂本和彦、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 横行結腸癌～右側結腸癌に対する頭側アプローチ先行による安全性向上と定型化 要望演題(ビデオ)

9. 兼清信介、武田 茂、飯田通久、北原正博、坂本和彦、鈴木伸明、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 食道癌術後胃管再建における再建経路による栄養指標の検討 ワークショップ関連
10. 松井洋人、坂本和彦、徳光幸生、徳久善弘、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 Resectable 膵癌における早期再発因子の検討 一般演題 (ミニオーラル)
11. 徳久善弘、坂本和彦、徳光幸生、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における IPNB 切除例の臨床病理学的検討 一般演題 (ミニオーラル)
12. 桑原太一、坂本和彦、徳光幸生、徳久善弘、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 当院における腹腔鏡下再肝切除の検討 一般演題 (ミニオーラル)
13. 渡邊孝啓、兼清信介、飯田通久、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 食道癌術後空腸瘻に起因するイレウスの検討と対策 要望演題
14. 武田 茂、兼清信介、飯田通久、北原正博、坂本和彦、鈴木伸明、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 食道癌術後患者に対する早期在宅経腸栄養の検討 シンポジウム関連
15. 北原正博、武田 茂、兼清信介、飯田通久、坂本和彦、鈴木伸明、上野富雄、吉野茂文、碓 彰一、永野浩昭 食道胃接合部腺癌手術症例の至適郭清範囲の検討 一般演題 (ミニオーラル)
16. 山田健介、坂本和彦、徳光幸生、徳久善弘、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 膵頭十二指腸切除術後の膵液瘻に対する術前危険因子の検討 一般演題 (ミニオーラル)
17. 鈴木伸明、碓 彰一、兼清信介、松井洋人、坂本和彦、武田 茂、吉野茂文、玉田耕治、上野富雄、永野浩昭 消化器がんに対する新規アジュバントを用いたがんペプチド療法の第 I 相試験 ワークショップ[ENGLISH]
18. 田中宏典、鈴木伸明、坂本和彦、友近 忍、徳久善弘、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 大腸癌肝転移切除後の再発リスク因子の検討と治療戦略 要望演題
19. 徳光幸生、坂本和彦、徳久善弘、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における完全鏡視下肝離断の実際と工夫 要望演題 (ビデオ)
20. 坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 高度脈管侵襲を伴う肝細胞癌に対する治療成績 シンポジウム関連
21. 西山光郎、武田 茂、兼清信介、飯田通久、坂本和彦、鈴木伸明、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 胸部食道癌術後再発、再発後治療におけるリスク因子、予後因子の検討 パネルディスカッション関連
22. 友近 忍、鈴木伸明、田中宏典、飯田通久、坂本和彦、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 クローン病鏡視下手術における術前評価としての CT enterography の有用性 一般演題 (ミニオーラル)
23. 飯田通久、武田 茂、兼清信介、北原正博、坂本和彦、鈴木伸明、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における進行胃癌に対する腹腔鏡下幽門側胃切除術の成績 一般演題 (ミニオーラル)
24. 松隈 聡、坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 BCLC intermediate stage HCC に対する肝切除の意義 一般演題 (ミニオーラル)
25. 中島正夫、坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 SVR 後肝癌の臨床病理学的特徴および切除成績 一般演題 (ミニオーラル)
26. 藤本拓也、坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における非 B 非 C 型肝細胞癌切除症例の臨床病理学的特徴 一般演題 (ミニオーラル)

## 第26回日本がん転移学会学術集会・総会 7/27-7/28 大阪

1. 永野浩昭 ワークショップ8 転移治療
2. 佐藤陽子、山本 滋、前田訓子、関矢まり、中須賀千代、西山光郎、北原正博、長島由紀子、久保秀文、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、永野浩昭 当科におけるトラスツズマブ エムタンシン (T-DM1) の使用経験 ポスター
3. 松隈 聡、吉村 清、小賀厚徳、井上萌子、布施雅規、江口英利、恒富亮一、徳光幸生、徳久善弘、坂本和彦、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 膵癌幹細胞に高発現する分子 calreticulin の同定と機能 ワークショップ
4. 恒富亮一、吉村 清、西山光郎、松隈 聡、兼清信介、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 肝転移能亢進を示す肝細胞癌幹細胞様細胞の特性 ワークショップ
5. 田中宏典、碓 彰一、友近 忍、恒富亮一、飯田通久、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、藤田浩司、黒田雅彦、奥野清隆、上野富雄、永野浩昭 大腸がんワクチン療法における miR-125b-1, miR-378a の治療効果予測マーカーとしての有用性 ワークショップ
6. 飯田通久、碓 彰一、恒富亮一、田中宏典、兼清信介、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、上野富雄、永野浩昭 癌間質における miR221 および miR222 の過剰発現は大腸癌の悪性度と相関するポスター

7. 友近 忍、碓 彰一、鈴木伸明、中島正夫、田中宏典、徳光幸生、兼清信介、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田 茂、上野富雄、山本 滋、吉野茂文、永野浩昭 Cetuximab による大腸癌肝転移巣への免疫的作用機序の病理学的検討 ポスター

#### 第44回日本膵切研究会 8/25-8/26 神奈川

1. 上野富雄、坂本和彦、岡田敏正、峯田修明、渡邊裕策、東田正陽、岡 保夫、鶴田 淳、藤原由規、永野浩昭、岡 正朗 特許化した吻合補助器を用いた主膵管貫通式縫合糸留置法による膵管空腸吻合 シンポジウム
2. 松井洋人、坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、松隈 聡、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における Borderline resectable 膵癌に対する術前ゲムシタピン+ナブパクリタキセル療法の経験 ポスター
3. 藤本拓也、坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における膵頭十二指腸切除症例の脂肪肝発症リスク因子の検討 ポスター

#### 第53回日本胆道学会学術集会 9/28-9/29 山形

1. 永野浩昭 一般演題 口演23 外科手術4
2. 波多野悦朗、永野浩昭、井岡達也 広範囲肝切除を要する肝門部胆管癌と肝内胆管癌の治療成績向上のための多施設共同試験の現状と展望 (KHBO の取り組みから) シンポジウム
3. 徳久善弘、坂本和彦、徳光幸生、松隈 聡、松井洋人、中島正夫、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における十二指腸乳頭部癌の手術成績 一般演題口演
4. 徳光幸生、徳久善弘、坂本和彦、藤本拓也、松隈 聡、松井洋人、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、永野浩昭 当科における胆嚢癌の外科治療成績 一般演題口演

#### 第76回日本癌学会学術総会 9/28-9/30 神奈川

1. 山本義明、恒富亮一、藤田悠介、川井禎久、松本洋明、浜本義彦、碓 彰一、永野浩昭、松山豪泰 Pharmacogenetic AUCモデルを用いた進行性腎細胞癌に対するアキシチニブの術前補助療法について ポスターセッション
2. 恒富亮一、吉村 清、松隈 聡、兼清信介、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 肝細胞癌幹細胞様Sphere細胞における抗癌剤耐性に関わる遺伝子の同定 ポスターセッション
3. 松隈 聡、吉村 清、坂本和彦、小賀厚徳、恒富亮一、布施雅規、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、江口英利、上野富雄、永野浩昭 膵癌幹細胞様細胞に高発現した分子の同定と解析 一般口演日本語セッション

#### JDDW 2017第25回日本消化器関連学会週間 10/12-10/15 福岡

1. 碓 彰一 デジタルポスターセッション18 (消化器外科学会) 大腸 (臨床病理診断) 1
2. 吉野茂文 デジタルポスターセッション76 (消化器外科学会) 十二指腸 (症例報告 (悪性) )
3. 永野浩昭 ブラックファーストセミナー16 (消化器外科学会) 術後癒着防止を意識した腹腔鏡下大腸手術の工夫
4. 永野浩昭 デジタルポスターセッション179 (消化器外科学会) 肝臓 (術後合併症)
5. 武田 茂、兼清信介、飯田通久、北原正博、西山光郎、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における喉頭温頸部高位吻合症例の検討 デジタルポスターセッション
6. 鈴木伸明、友近 忍、田中宏典、徳光幸生、兼清信介、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、橋本真一、坂井田功、上野富雄、永野浩昭 内科と外科によるCT enterographyを用いたクローン病のトータルマネージメント デジタルポスターセッション
7. 恒富亮一、碓 彰一、友近 忍、田中宏典、兼清信介、徳光幸生、徳久善弘、飯田通久、鈴木伸明、坂本和彦、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、上野富雄、永野浩昭 全Exon解析から見いだされたSNPsによるイリノテカン副作用予測 デジタルポスターセッション
8. 兼清信介、武田 茂、飯田通久、西山光郎、北原正博、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 腹臥位胸腔鏡下食道切除術の低侵襲性と生存率の検討A propensity score matched comparison of operative approaches デジタルポスターセッション
9. 徳久善弘、坂本和彦、佐伯一成、徳光幸生、松隈 聡、中島正夫、松井洋人、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、坂井田功、永野浩昭 80歳以上の超高齢者肝細胞癌の治療成績 デジタルポスターセッション
10. 坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、松隈 聡、松井洋人、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、上野富雄、吉野茂文、碓 彰一、永野浩昭 高度脈管侵襲を伴う肝細胞癌に対する外科治療成績 デジタルポスターセッション
11. 田中宏典、鈴木伸明、友近 忍、徳光幸生、兼清信介、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 大腸癌肺転移切除症例の検討 デジタルポスターセッション

12. 友近 忍、碓 彰一、鈴木伸明、田中宏典、兼清信介、松井洋人、中島正夫、徳光幸生、坂本和彦、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、藤田知信、河上 裕、奥野清隆、玉田耕治、上野富雄、永野浩昭 進行・再発大腸がんに対する抑制性免疫解除を目的とした複合免疫療法第I相臨床試験 デジタルポスターセッション
13. 藤原康弘、鈴木伸明、友近 忍、田中宏典、徳光幸生、兼清信介、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 閉塞性大腸癌に対する治療方針の検討 デジタルポスターセッション
14. 松隈 聡、吉村 清、江口英利、恒富亮一、松井洋人、兼清信介、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 膵癌幹細胞の新たな表面マーカーcalreticulinの同定 デジタルポスターセッション
15. 飯田通久、武田 茂、兼清信介、西山光郎、北原正博、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、碓 彰一、吉野茂文、上野富雄、永野浩昭 当科における高齢者胃癌に対する腹腔鏡下幽門側胃切除術の成績 デジタルポスターセッション
16. 吉野茂文、中島正夫、兼清信介、西山光郎、北原正博、友近 忍、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 胃癌における腫瘍周囲間質のSPARC発現と臨床的意義の検討 デジタルポスターセッション
17. 桑原太一、碓 彰一、鈴木伸明、友近 忍、田中宏典、中島正夫、松井洋人、兼清信介、徳光幸生、飯田通久、徳久善弘、坂本和彦、武田 茂、上野富雄、吉野茂文、藤田知信、河上 裕、永野浩昭 大腸癌治療切除後の予後における免疫関連因子の検討 デジタルポスターセッション
18. 西山光郎、武田 茂、兼清信介、飯田通久、北原正博、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 食道癌術後に食道裂孔ヘルニアをきたした3例 デジタルポスターセッション
19. 徳光幸生、坂本和彦、永野浩昭 ソフト凝固2台併用法と離断面展開の工夫による鏡視下肝離断の定型化 ワークショップ

#### 第55回日本癌治療学会学術集会 10/20-10/22 神奈川

1. 永野浩昭 一般口演26 膵臓 基礎・診断
2. 佐藤陽子、山本 滋、前田訓子、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、長島由紀子、久保秀文、永野浩昭 術前、術後補助化学療法に対する Pegfilgrastimの有効性の検討 デジタルポスター
3. 井岡達也、永野浩昭、波多野悦朗 胆道癌の治療開発における多施設共同研究の寄与するもの シンポジウム
4. 山本 滋、前田訓子、佐藤陽子、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、長島由紀子、久保秀文、永野浩昭 乳癌手術における注射用アセトアミノフェンを使用した疼痛コントロール デジタルポスター
5. 前田訓子、山本 滋、佐藤陽子、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、長島由紀子、久保秀文、永野浩昭 当科における転移・再発乳癌に対するエベロリムス + エキセメスタンの使用経験 デジタルポスター
6. 恒富亮一、吉村 清、松隈聡、兼清信介、友近 忍、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 癌幹細胞様細胞における抗癌剤耐性に影響を及ぼす遺伝子の同定 プレナリーセッション
7. 武田 茂、兼清信介、飯田通久、北原正博、西山光郎、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 食道癌化学療法における Diamine Oxidase(DAO)の遺伝子多型と消化管毒性の関連性の検討 デジタルポスター
8. 吉野茂文、武田 茂、鈴木伸明、坂本和彦、飯田通久、徳久善弘、友近 忍、兼清信介、徳光幸生、渡邊裕策、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 切除不能・再発胃癌に対する2次化学療法としての低用量 Nab-Paclitaxel療法の有用性 デジタルポスター
9. 鈴木伸明、友近 忍、田中宏典、藤原康弘、徳光幸生、兼清信介、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 横行結腸肝弯曲～右側結腸癌に対する頭側アプローチ先行による安全性向上と定型化 デジタルポスター

#### 第47回胃外科・術後障害研究会 11/3-11/4 神奈川

1. 飯田通久、武田 茂、兼清信介、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、山本 滋、碓 彰一、吉野茂文、上野富雄、永野浩昭 高齢者胃癌に対する腹腔鏡下幽門側胃切除術の成績 ポスター

#### 第72回日本大腸肛門病学会学術集会 11/10-11/11 福岡

1. 碓 彰一 一般演題(ポスター)46 早期結腸癌 外科的治療2
2. 田中宏典、鈴木伸明、友近 忍、徳光幸生、兼清信介、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 横行結腸肝弯曲～右側結腸癌に対する胃結腸間アプローチ先行による安全性向上と定型化 要望演題
3. 鈴木伸明、友近 忍、坂本和彦、徳光幸生、田中宏典、木村祐太、松隈 聡、松井洋人、北原正博、兼清信介、徳久善弘、飯田通久、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、吉永榮一、上野富雄、永野浩昭 当科における大腸癌同時性肝転移切除症例における術前化学療法の検討 要望演題

4. 木村祐太、鈴木伸明、友近 忍、田中宏典、徳光幸生、兼清信介、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田 茂、吉野茂文、  
 碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における大腸癌腹膜播種症例の検討 要望演題
5. 友近 忍、鈴木伸明、田中宏典、徳光幸生、兼清信介、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、  
 碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 科における閉塞性大腸癌に対する治療方針の検討 一般演題（口演）
6. 藤井敏之、竹重元寛、碓 彰一、宇都宮高賢 当院における再発直腸脱の治療と現況 要望演題

**第44回日本臓器保存生物医学会学術集会 11/10-11/11 大阪**

1. 永野浩昭 一般演題1 肝機械灌流 座長

**第28回日本消化器癌発生学会総会第9回国際消化器癌発生会議 11/17-11/18 熊本**

1. 恒富亮一、西山光郎、藤原信行、松隈 聡、兼清信介、徳久善弘、徳光幸生、飯田通久、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、  
 山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 癌幹細胞様特性を示すSphere 細胞における抗癌剤耐性に関与する遺伝子  
 の同定 一般口演

**第79回日本臨床外科学会総会 11/23-11/25 東京**

1. 永野浩昭 高齢者に対する胆・膵手術 適応と限界 座長
2. 木村祐太、鈴木伸明、友近 忍、田中宏典、徳光幸生、兼清信介、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田 茂、吉野茂文、  
 碓 彰一、上野富雄、吉永榮一、永野浩昭 85歳以上の高齢者大腸癌手術症例の検討 主題関連演題
2. 吉野茂文、武田 茂、鈴木伸明、坂本和彦、飯田通久、徳久善弘、友近 忍、兼清信介、徳光幸生、山本 滋、碓 彰一、  
 上野富雄、永野浩昭 当院におけるがん地域連携クリティカルパスの運用状況と今後の課題 要望演題口演
3. 松隈 聡、坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、松井洋人、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、和田浩史、  
 左近賢人、小林省吾、江口英利、永野浩昭 脈管侵襲を伴わない多発肝癌（Barcelona Clinic Liver Cancer Classification  
 intermediate stage: BCLC-B）に対する肝切除の意義 要望演題口演
4. 武田 茂、兼清信介、飯田通久、北原正博、西山光郎、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、山本 滋、  
 吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 頸部胸部食道癌における喉頭温存頸部高位吻合 主題関連演題
5. 兼清信介、武田 茂、飯田通久、西山光郎、北原正博、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、山本 滋、  
 吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 胸部中部食道癌における術中迅速を併用した郭清範囲の検討 一般演題（口演）
6. 松井洋人、坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、松隈 聡、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、  
 碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 教室における切除可能境界/切除不能膵癌に対する治療戦略 一般演題（口演）
7. 北原正博、武田 茂、飯田通久、兼清信介、西山光郎、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、山本 滋、  
 吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 食道癌術後に発症したAeromonas Hydrophila壊死性軟部組織感染症の1例  
 一般演題（示説）
8. 小林省吾、江口英利、寺嶋宏明、宮本敦史、柳本泰明、竹村茂一、味木徹夫、落合登志哉、猪飼伊和夫、金沢景繁、生駒久視、  
 瀬尾智、武田 裕、波多野悦朗、永野浩昭 胆道癌の病期や手術内容に応じた集学的治療の開発（KHBO の多施設共同研究の  
 取り組み） シンポジウム
9. 徳久善弘、坂本和彦、徳光幸生、松隈 聡、松井洋人、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、山本 滋、  
 吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 拡大右葉切除、胆道再建後の門脈血栓に対して肝円索アプローチで血栓除去しえ  
 た起死回生の一例 ビデオシンポジウム
10. 徳光幸生、坂本和彦、徳久善弘、松隈 聡、松井洋人、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、  
 碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 周術期合併症低減と術後早期回復を目指した完全腹腔鏡下肝右葉尾側亜区域（S5/6）切除  
 パネルディスカッション
11. 碓 彰一、鈴木伸明、友近 忍、田中宏典、松井洋人、西山光郎、兼清信介、飯田通久、徳久善弘、坂本和彦、武田 茂、  
 山本 滋、吉野茂文、上野富雄、永野浩昭 既存薬のリポジショニングによる大腸がんに対する新規複合免疫療法の開発  
 ワークショップ
12. 鈴木伸明、友近 忍、田中宏典、徳光幸生、兼清信介、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、  
 上野富雄、吉永榮一、永野浩昭 腹腔鏡補助下右側結腸切除術における頭側アプローチ先行手技の定型化 ビデオワー  
 クショップ
13. 山本 滋、前田訓子、佐藤陽子、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、長島由紀子、久保秀文、永野浩昭 乳房温存手術Bp 後の乳房  
 変形を最小限にすることを旨とした乳房腺片状部分切除補助器具の開発と切除欠損部補填の手技 主題関連演題
14. 飯田通久、武田 茂、兼清信介、中島千代、北原正博、西山光郎、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、  
 山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、永野浩昭 幽門側胃切除術後残胃癌に対する治療戦略 要望演題口演

15. 友近 忍、鈴木伸明、田中宏典、徳光幸生、兼清信介、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、吉永榮一、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における直腸癌骨盤内再発の治療戦略 一般演題（口演）
16. 佐藤陽子、山本 滋、前田訓子、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、長島由紀子、久保秀文、永野浩昭 当院における術前、術後補助化学療法に対するPegfilgrastimの有効性の検討 一般演題（示説）
17. 山田健介、松井洋人、徳光幸生、兼清信介、友近 忍、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 抗凝固療法中に胆嚢出血による胆嚢破裂をきたした1例 一般演題（示説）
18. 藤本拓也、坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、松井洋人、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における膵頭十二指腸切除後の脂肪肝発症リスク因子に関する検討 一般演題（示説）
19. 関谷まり、河岡 轍、須藤隆一郎、加藤智栄、矢原 昇、坂田晃一郎、高橋 剛、山本達人、原田栄二郎、松井洋人、坂本和彦、濱野公一、永野浩昭 山口県における膵癌切除術後10年長期生存症例についての報告 一般演題（示説）
20. 岩本圭亮、高橋 剛、河岡 徹、矢原 昇、坂田晃一郎、加藤智栄、須藤隆一郎、山本達人、原田栄二郎、松井洋人、坂本和彦、濱野公一、永野浩昭 山口県における膵癌切除後長期生存（5年）例についての多施設症例検討 一般演題（示説）
21. 蔵原弘、新地洋之、前村公成、又木雄弘、大塚隆生、宮坂義浩、江口 晋、七島篤志、永野浩昭、猪俣雅史、岡部信義、西原一善、夏越祥次、中村雅史 Borderline Resectable膵癌に対する治療戦略 九州・山口胆膵癌治療フォーラムアンケート結果からの検討 ワークショップ
22. 上野富雄、坂本和彦、岡田敏正、峯田修明、岡本由佑子、浦岡未央、窪田寿子、東田正陽、渡邊裕策、岡 保夫、鶴田 淳、藤原由規、永野浩昭 特許化した吻合補助器を用いた細径膵管での膵管消化管吻合の工夫 ビデオワークショップ
22. 河野和明、加藤智栄、矢原 昇、高橋 剛、山本達人、坂田晃一郎、河岡 徹、須藤隆一郎、原田栄二郎、松井洋人、坂本和彦、濱野公一、永野浩昭 山口県における膵癌・門脈合併切除再建症例についての多施設症例検討 一般演題（口演）

#### 第30回日本外科感染症学会総会学術集会 11/29-11/30 東京

1. 坂本和彦 一般演題ポスター 周術期管理 1
2. 武田 茂、兼清信介、飯田通久、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 局所陰圧閉鎖療法の現状と将来展望 スポンサーシンポジウム
3. 武田 茂、兼清信介、飯田通久、北原正博、西山光郎、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における食道癌術後肺合併症予防対策 一般口演

#### 第42回日本肝臓学会西部会 11/30-12/1 福岡

1. 永野浩昭 若手7 肝癌2 座長
2. 中島正夫、坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、松井洋人、藤本拓也、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 術前SVRIは原発性肝細胞癌の肝切除後予後を改善させる 一般演題

#### 第30回日本バイオセラピー学会学術集会総会 11/30-12/1 岐阜

1. 碓 彰一 シンポジウム1 がん微小環境の制御 座長
2. 永野浩昭 パネルディスカッション3 がん免疫療法におけるバイオマーカーの開発(2) 座長
3. 吉野茂文 ワークショップ3 分子標的治療 座長
4. 鈴木伸明 一般演題4 予後予測因子 座長
5. 川村純一郎、杉浦史哲、助川 寧、吉岡康多、肥田仁一、碓 彰一、奥野清隆 StageIII大腸癌根治術後患者に対するUFT/LV併用ペプチドワクチン療法-多施設共同第2相臨床試験- ワークショップ
6. 兼清信介、碓 彰一、恒富亮一、松井洋人、鈴木伸明、中島正夫、田中宏典、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、上野富雄、玉田耕治、永野浩昭 少数例におけるネオアンチゲン探索の経験（由来エピトープペプチドに対する新規免疫療法の開発） ワークショップ
7. 松井洋人、碓 彰一、中島正夫、松隈 聡、兼清信介、徳光幸生、新藤芳太郎、恒富亮一、友近 忍、飯田通久、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、玉田耕治、上野富雄、永野浩昭 肝細胞癌（HCC）に対する術後補助療法としてのHSP70-mRNA導入樹状細胞療法第I/II相試験（中間報告） ワークショップ
8. 鈴木伸明、碓 彰一、中島正夫、北原正博、松井洋人、兼清信介、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、玉田耕治、上野富雄、永野浩昭 負の免疫病態（免疫チェックポイント）を制御する新規アジュバントを用いたがんペプチド療法の開発 シンポジウム

9. 田中宏典、碓 彰一、松井洋人、徳光幸生、兼清信介、友近 忍、恒富亮一、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、藤田浩司、黒田雅彦、奥野清隆、上野富雄、永野浩昭 大腸がんワクチン療法におけるmiR-125b-1, miR-378aの治療効果予測マーカーとしての有用性 一般演題
10. 山田健介、碓 彰一、桑原太一、中島正夫、田中宏典、竹之内寛子、松井洋人、兼清信介、徳光幸生、友近 忍、飯田通久、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、上野富雄、永野浩昭 ペプチドワクチン療法を含む集学的治療により長期生存している大腸癌肝十二指腸間膜リンパ節転移の1例 一般演題
11. 碓 彰一 がん免疫療法におけるPrecision Medicineの導入と展開 シンポジウム
12. 桑原太一、碓 彰一、中島正夫、松井洋人、鈴木伸明、友近 忍、兼清信介、徳光幸生、坂本和彦、飯田通久、徳久善弘、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、上野富雄、藤田知信、河上 裕、永野浩昭 大腸癌治療切除例の予後因子の検討 -Immunoscore並びにMSI解析から- 一般演題
13. 吉野茂文、武田 茂、鈴木伸明、坂本和彦、飯田通久、徳久善弘、友近 忍、兼清信介、徳光幸生、北原正博、西山光郎、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 切除不能・再発胃癌に対する2次化学療法としての低用量Nab-Paclitaxel療法の有用性 一般演題
14. 竹之内寛子、碓 彰一、鈴木伸明、新藤芳太郎、中島正夫、松井洋人、兼清信介、友近 忍、徳久善弘、武田 茂、吉野茂文、田中浩明、有賀 淳、榎田祐三、島田光生、藤田知信、河上 裕、玉田耕治、上野富雄、永野浩昭 膵癌ペプチドワクチン療法における栄養指標の重要性 パネルディスカッション

#### 第9回膵臓内視鏡外科研究会 12/6 京都

1. 徳久善弘、坂本和彦、徳光幸生、松隈 聡、松井洋人、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 腹腔鏡下膵体尾部切除術の手術成績 一般演題
2. 松井洋人、坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、松隈 聡、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 腹腔鏡下膵体尾部切除術後に門脈血栓を来した一例 一般演題

#### 第11回肝臓内視鏡外科研究会 12/6 京都

1. 徳光幸生、坂本和彦、徳久善弘、松隈 聡、松井洋人、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 完全鏡視下右肝葉尾側亜区域 (S5/6) 切除における工夫と実際 シンポジウム
2. 松井洋人、坂本和彦、徳久善弘、松隈 聡、徳光幸生、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 腹腔鏡下肝S7/S8領域切除における最近の工夫と治療成績 ワークショップ
3. 徳久善弘、坂本和彦、徳光幸生、松隈 聡、松井洋人、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 腹腔鏡下肝切除における開腹移行症例の検討 一般演題
4. 松隈 聡、坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、松井洋人、藤本拓也、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 再発肝癌に対する当科の腹腔鏡下再肝切除の適応と手術成績 一般演題

#### 第30回日本内視鏡外科学会総会 12/7-12/9 京都

1. 永野浩昭 ワークショップ1 内視鏡手術による新たな外科解剖の展開(肝胆膵) 座長
2. 吉野茂文 胃・十二指腸悪性20 座長
3. 木村祐太、鈴木伸明、友近 忍、徳光幸生、兼清信介、飯田通久、武田 茂、藤井敏之、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 有棘連続縫合糸による小腸イレウスの2例 一般演題(口演)
4. 武田 茂、兼清信介、飯田通久、北原正博、西山光郎、中島千代、徳光幸生、友近 忍、鈴木伸明、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 高齢者食道癌における胸腔鏡下食道切除術の検討 一般演題(ポスター)
5. 藤本拓也、鈴木伸明、友近 忍、兼清信介、徳光幸生、飯田通久、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 妊娠21週での急性虫垂炎に対し腹腔鏡下虫垂切除術を施行した1例 一般演題(ポスター)
6. 友近 忍、鈴木伸明、徳光幸生、兼清信介、飯田通久、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科での横行結腸癌に対する腹腔鏡下手術：中結腸動脈根部郭清へのアプローチ 一般演題(ポスター)
7. 田中宏典、鈴木伸明、友近 忍、徳光幸生、兼清信介、飯田通久、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 脾彎曲部～下行結腸進行癌に対する腹腔鏡手術 一般演題(ポスター)
8. 鈴木伸明、友近 忍、徳光幸生、兼清信介、飯田通久、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における腹腔鏡下内肝門括約筋切除術(Lap-ISR)の手法と成績 一般演題(ポスター)
9. 松隈 聡、徳光幸生、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における腹腔鏡下「再」肝切除の治療成績 一般演題(ポスター)

10. 兼清信介、武田 茂、飯田通久、西山光郎、北原正博、徳光幸生、友近 忍、鈴木伸明、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 胸腔鏡下食道切除術における術中反回神経モニタリングの有用性 一般演題(ポスター)
11. 西山光郎、武田 茂、飯田通久、中島千代、北原正博、兼清信介、徳光幸生、友近 忍、鈴木伸明、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 腹腔鏡下幽門側胃切除でのBillrothII法再建法とRoux en-Y再建法の治療成績 一般演題(ポスター)
12. 中島千代、武田 茂、飯田通久、兼清信介、北原正博、西山光郎、友近 忍、鈴木伸明、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 高齢者胃癌に対する腹腔鏡下幽門側胃切除術の成績 一般演題(口演)
13. 徳光幸生、松隈 聡、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 鏡視下肝離断を行うための離断面展開の工夫と実際 一般演題(口演)
14. 飯田通久、武田 茂、兼清信介、中島千代、北原正博、西山光郎、徳光幸生、友近 忍、鈴木伸明、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、永野浩昭 定型化に向けた腹腔鏡下胃全摘D2-No10郭清 一般演題(ポスター)

# 地方会発表・司会

## 第86回大腸癌研究会 1/20 岩手

1. 鈴木伸明、友近 忍、田中宏典、藤原康弘、中島正夫、松井洋人、北原正博、徳光幸生、兼清信介、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における直腸癌に対する縫合不全ゼロを目指した取り組み
2. 友近 忍、鈴木伸明、碓 彰一、井上由佳、田中宏典、徳光幸生、兼清信介、中島正夫、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、上野富雄、永野浩昭 抗EGFR抗体による大腸癌肝転移巣への腫瘍浸潤性T細胞（TIL）誘導の免疫的作用機序の検討
3. 田中宏典、鈴木伸明、友近 忍、松井洋人、北原正博、徳光幸生、兼清信介、恒富亮一、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、奥野清隆、河上 裕、永野浩昭 大腸癌間質における miR-378a 発現は大腸癌ワクチン療法のバイオマーカーとなる

## New Year Seminar 2017 1/20 北海道

1. 永野浩昭 大腸癌肝転移症例に対する治療戦略について 講師

## テルモ術後疼痛管理セミナー in山口 1/26 山口

1. 永野浩昭 Session ディスカッション『テーマ：今の術後疼痛管理をさらにアップグレードするには』司会
2. 鈴木伸明 今の術後疼痛管理をさらにアップグレードするには ディスカッサント
3. 山本 滋 今の術後疼痛管理をさらにアップグレードするには ディスカッサント

## 第38回九州肝臓外科研究会 1/28 福岡

1. 松隈 聡、坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、松井洋人、桑原太一、中島正夫、藤本拓也、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 前区域切除後に後区域胆管狭窄から胆汁漏を来した一例 一般演題
2. 徳光幸生、坂本和彦、徳久善弘、桑原太一、中島正夫、藤本拓也、松隈 聡、松井洋人、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 前区域枝 Glisson 鞘の体外ターニケット時に胆汁漏をきたした腹腔鏡下肝 S5 亜区域切除術の1例 一般演題

## 第14回日本癌治療学会市民公開講座 2/12 山口

1. 永野浩昭 「山口県がん治療最前線」～体に優しいがん治療を目指して～ 司会
2. 武田 茂 体に優しい食道がん治療 講演
3. 飯田通久 体に優しい胃がんの治療 講演
4. 鈴木伸明 体に優しい大腸がん治療最前線 講演
5. 山本 滋 体に優しい乳がんの診断と治療 講演
6. 坂本和彦 肝臓がんの腹腔鏡手術 講演

## 第36回山口県臨床栄養研究会 2/15 山口

1. 永野浩昭 特別講演 座長
2. 武田 茂 一般演題 座長
3. 藤本拓也、坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、中島正夫、松隈 聡、松井洋人、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、上野富雄、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、永野浩昭 当科における膵頭十二指腸切除後症例の脂肪肝発症リスク因子の検討 一般演題

## 第45回中国四国甲状腺外科研究会 2/18 岡山

1. 佐藤陽子、山本 滋、前田訓子、関矢まり、中須賀千代、西山光郎、北原正博、井上由佳、長島由紀子、久保秀文、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、永野浩昭 当院におけるパセドウ病手術の検討 一般演題

## 第34回山口県食道疾患研究会 2/24 山口

1. 渡邊孝啓、兼清信介、武田 茂、飯田通久、西山光郎、北原正博、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における特殊型食道癌の治療 一般演題

## 乳がん学術講演会 3/3 山口

1. 山本 滋 特別講演 座長

## 第2回徳山がんセミナー 3/3 山口

1. 永野浩昭 これからの膵癌集学的治療を考える 特別講演

## 市民公開講座「乳がんの早期発見と治療」について 3/4 山口

1. 山本 滋 「乳がんの早期発見と治療」について 講演

## 第3回難治性疾患トランスレーションセミナー 3/14 山口

1. 松井洋人 “HSP70由来マルチHLA結合性ペプチドの同定と新規複合免疫療法の第 相試験” セミナー

## 第11回山口県消化管セミナー 3/17 山口

1. 武田 茂 一般演題 座長
2. 永野浩昭 特別講演 座長
3. 飯田通久、武田 茂、兼清信介、西山光郎、北原正博、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、山本 滋、碓 彰一、吉野茂文、上野富雄、永尾未怜、五嶋敦史、岡本健志、坂井田功、永野浩昭 リンパ節郭清の観点からみた幽門側胃切除術後残胃癌に対する治療戦略 一般演題

## 第50回制癌剤適応研究会 3/17 徳島

1. 碓 彰一、鈴木伸明、友近 忍、田中宏典、兼清信介、松井洋人、中島正夫、坂本和彦、武田 茂、吉野茂文、上野富雄、永野浩昭 癌免疫療法の温故知新 - 既存薬のリポジショニングによる大腸がんに対する新規複合免疫・ペプチド療法の開発と展望 シンポジウム

## 第61回免疫懇話会 - Announcement - 3/22 山口

1. 碓 彰一 一般演題 座長
2. 永野浩昭 特別講演 座長
3. 坂本和彦 当科における生体肝移植の経験 一般演題

## 周南エリア Breast Cancer Conference ~ホルモン療法 Up to Date~ 3/22 山口

1. 山本 滋 山口大学における乳癌診療の現況 特別講演

## 第21回西宮消化器病フォーラム 3/22 兵庫

1. 永野浩昭 肝移植 - 今知っておきたいこと - 特別講演

## 平成28年度 生理画像部門・病理細胞部門合同研修会 3/26 山口

1. 山本 滋 乳腺の基礎 (エコー・マンモグラフィー・臨床) 講師

## 15th Kurume Liver Cancer Forum (KLCSG) 4/13 福岡

1. 永野浩昭 進行肝癌に対する外科治療の現状 特別講演

## 第113回健康公開講座 4/15 山口

1. 永野浩昭 消化器癌外科治療における山口大学の現状と取り組み 講師

## 食道癌セミナー 5/11 山口

1. 永野浩昭 特別講演
2. 武田 茂 一般演題
3. 飯田通久 当科における胃癌手術の成績と最近の取り組み 一般演題
4. 兼清信介 当科における食道癌治療の現状と取り組み 一般演題

## 抗がん剤曝露対策セミナー in山口 5/13 山口

1. 吉野茂文 パネルディスカッション 司会
2. 永野浩昭 特別講演 座長

## 第1回山口乳癌研究会 5/17 山口

1. 永野浩昭 特別講演 座長
2. 山本 滋 山口県の乳癌診療のレベルアップには何が必要か? - 山口乳癌研究会の果たす役割 - 基調講演

## 第44回千葉胃癌研究会 5/19 千葉

1. 吉野茂文 これからの胃癌治療を考える 特別講演

## 第二回山口膵・胆道疾患研究会 5/23 山口

1. 永野浩昭 セッション：膵癌診療に関する検討 司会
2. 松井洋人 山口膵・胆道疾患研究会 アンケート調査結果報告 セッション
3. 松井洋人 膵癌術前化学療法に関する新規臨床試験の提案 セッション

## 消化器がんセミナー in萩 5/30 山口

1. 永野浩昭 これからの膵癌集学的治療を考える 特別講演

## 2017年度 MRスキルアップ研修 5/31 山口

1. 武田 茂 講師

**第76回山口県臨床外科学会 6/4 山口**

1. 山本 滋 一般演題セッション (演題1~5) コメンテーター
2. 坂本和彦 一般演題セッション (演題21~26) コメンテーター
3. 永野浩昭 肝移植の現状と展望 特別講演
4. 佐藤陽子、山本 滋、前田訓子、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、長島由紀子、久保秀文、永野浩昭 当院におけるペバシズマブ+パクリタキセル療法の使用経験 一般演題
5. 西山光郎、兼清信介、武田 茂、飯田通久、北原正博、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における噴門側胃切除後に対する観音開き法による食道残胃吻合の経験 一般演題
6. 藤原康弘、鈴木伸明、友近 忍、田中宏典、徳光幸生、兼清信介、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 閉塞性大腸癌に対するステント留置症例の経験 一般演題
7. 柴田眼治、柴田大明、武田 茂、兼清信介 当院における痔瘻の改良術式について 一般演題
8. 藤原康弘、佐々木明、中島正夫、坂本和彦、永野浩昭 術前診断し得た胆嚢軸捻転症の1例 一般演題
9. 松隈 聡、坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、松井洋人、中島正夫、藤本拓也、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における腹腔鏡下系統的肝切除の現状 一般演題
10. 坂本和彦、佐々木明、藤原康弘、中島正夫、吉田 晋、永野浩昭 再発単径ヘルニアに対する腹腔鏡下単径ヘルニア修復術(TAPP)でのアプローチ 一般演題

**山口市 Breast Cancer Conference ~ホルモン療法 Up to Date~ 6/8 山口**

1. 山本 滋 山口大学における乳癌診療の現況 特別講演

**大鷲薬品工業株式会社社内研修会 6/8 山口**

1. 友近 忍 大腸癌治療戦略について

**第34回山口県母性衛生学会総会および学術講演会 6/11 山口**

1. 山本 滋 助産師が知っておきたい乳癌の基礎知識 教育講演

**第60回関西胸部外科学会学術集会 6/22-6/23 大阪**

兼清信介、武田 茂、飯田通久、西山光郎、北原正博、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、鈴木伸明、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、永野浩昭 後期高齢者食道癌手術症例の現状 一般口演

**第60回関西胸部外科学会学術集会 6/22-6/23 大阪**

武田 茂、兼清信介、北原正博、西山光郎、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 頸胸部食道癌における頸部高位吻合の検討 一般口演

**HBOC Scientific Exchange Meeting 2017 6/23 山口**

1. 永野浩昭 特別講演1 座長

**第7回愛媛肝胆膵外科セミナー 6/24 愛媛**

1. 永野浩昭 血管合併切除を伴う肝胆膵外科の展望 特別講演

**講座10：がんについて学ぶ～がんのサイエンスと診療の実際～ 6/24 山口**

1. 武田 茂 肝胆膵領域のがん治療について 講師
2. 山本 滋 乳がんについてもっと知りましょう！
3. 坂本和彦 「がん」の診断 - 適切な治療法選択のための情報提供 -

**第13回山口県外科感染症研究会 7/5 山口**

1. 武田 茂、兼清信介、飯田通久、北原正博、西山光郎、中島千代、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 食道癌術前化学療法の感染症合併症についての検討 一般演題

**第15回下関消化器病フォーラム 7/26 山口**

1. 吉本裕紀、坂田晃一朗、森田克彦、林 秀知、来嶋大樹、千々松日香里、吉野茂文、平野厚宜 十二指腸神経内分泌腫瘍(NET)の1切除例 一般演題
2. 吉野茂文 胃癌治療 - 嗚呼混沌の夢醒めて 特別講演

**ALL YAMAGUCHI CRC 講演会 8/9 山口**

1. 永野浩昭 一般講演 座長

**第32回進行・再発乳癌勉強会 8/19 岡山**

1. 山本 滋 一般演題 座長
2. 前田訓子、山本 滋、佐藤陽子、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、長島由紀子、久保秀文、永野浩昭 当科における進行・再発乳癌に対する分子標的薬と内分泌治療薬の使用経験 一般演題

**局所陰圧閉鎖療法セミナー in山口 8/23 山口**

1. 永野浩昭 症例発表 座長
2. 武田 茂 症例発表 外科領域におけるNPWT治療の実際 基調講演

**第11回宇部・小野田圏域緩和ケア事例検討会 8/26 山口**

1. 北原正博 化学療法と並行して在宅支援を導入した食道がん事例 一般演題

**第12回山口県消化管セミナー 9/1 山口**

1. 西山光郎、武田 茂、飯田通久、兼清信介、中島千代、北原正博、徳光幸生、友近 忍、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、山本 滋、碓 彰一、吉野茂文、上野富雄、永野浩昭 当科における進行胃癌に対する腹腔鏡下幽門側胃切除術の成績 - 開腹手術との比較 - 一般演題

**小野薬品工業株式会社 胃癌に関する社内研修会 9/4 山口**

1. 吉野茂文 胃癌薬物療法の現状と今後の治療方針

**第92回中国四国外科学会総会 第22回中国四国内視鏡外科研究会 9/8-9/9 高知**

1. 永野浩昭 シンポジウム2(外科学会) 「新専門医制度と地域の外科」 司会
2. 飯田通久、武田 茂、兼清信介、北原正博、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、碓 彰一、吉野茂文、上野富雄、永野浩昭 当科におけるロボット支援幽門側胃切除術の現状と成績 スポンサーシンポジウム
3. 藤本拓也、坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、中島正夫、松井洋人、松隈 聡、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 空腸起始部に発症した巨大GISTの1切除例 一般演題
4. 佐藤陽子、山本 滋、前田訓子、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、長島由紀子、久保秀文、永野浩昭 転移・再発乳癌におけるペバシズマブ+パクリタキセル療法の使用経験 一般演題
5. 田中宏典、鈴木伸明、友近 忍、徳光幸生、兼清信介、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 脾彎曲部~下行結腸進行癌に対する腹腔鏡手術 一般演題
6. 徳光幸生、坂本和彦、徳久善弘、松隈 聡、松井洋人、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 EUS-FNAにて術前診断し、腹腔鏡下に摘出した隣近傍後腹膜Paragangliomaの1例 一般演題
7. 坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、中島正夫、藤本拓也、松隈 聡、松井洋人、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 肝内胆管癌に対し完全腹腔鏡下左側尾状葉切除術を行った1例 一般演題
8. 鈴木伸明、友近 忍、田中宏典、木村祐太、徳光幸生、兼清信介、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における進行大腸癌の骨盤内他臓器合併切除症例の検討 一般演題
9. 兼清信介 シンポジウム2(外科学会) 「新専門医制度と地域の外科」 シンポジウム

**Clinical Cancer Symposium in山口 9/13 山口**

1. 永野浩昭 一般演題 胃癌・大腸癌の治療戦略 座長
2. 飯田通久 胃：胃癌化学療法の現状 一般演題

**第21回大牟田・荒尾手術手技研究会 9/15 福岡**

1. 永野浩昭 血管合併切除を伴う肝胆膵外科の取り組みと展望 特別講演

**第14回日本乳癌学会中国四国地方会 9/16-9/17 岡山**

1. 山本 滋 優秀演題セッション 司会
2. 佐藤陽子、山本 滋、前田訓子、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、長島由紀子、久保秀文、永野浩昭 ペバシズマブ+パクリタキセル療法の当科における使用経験 一般演題

**平成29年度山口県肝疾患コーディネーター養成講習会 9/17 山口**

1. 坂本和彦 講義 肝移植

**第2回がん化学療法セミナー 9/20 山口**

1. 鈴木伸明 一般講演 座長

**Gastroenterology & Kampo 2017 9/21 山口**

1. 永野浩昭 基調講演 座長

**中外製薬株式会社社内研修会 9/22 山口**

1. 鈴木伸明 講師

**第31回山口県乳腺疾患研究会 9/23 山口**

1. 山本 滋 特別講演 座長
2. 佐藤陽子、山本 滋、前田訓子、長島由紀子、久保秀文、坂本和彦、鈴木伸明、武田 茂、永野浩昭 当科における乳頭乳輪温存乳房切除術(NSM)の検討 一般演題

**旭化成ファーマ株式会社社内勉強会 9/26 山口**

1. 山本 滋 乳癌と治療、合併症について 講師

**周南乳がん学術講演会 9/28 山口**

1. 佐藤 陽子

**大腸癌化学療法勉強会 in 下関 9/29 山口**

1. 鈴木伸明

**看護師といっしょに考える第7回がん市民公開講座気になる「前立腺がん」のお話 9/30 山口**

1. 吉野茂文 一般講演 座長

**第83回岡山大学第1外科教室開講記念会プログラム 10/1 岡山**

1. 永野浩昭 特別講演 大阪の外科医が山口で、何をするのか、何が出来るか 特別講演

**第7回肝胆膵フォーラム in Yamaguchi 10/4 山口**

1. 田邊雅也、田辺昌寛、中尾 聖、三好啓介、伊東克能、松隈 聡、松井洋人、徳光幸生、徳久善弘、坂本和彦、永野浩昭、竹田孔明、松村卓郎 SACIテストが有用であった膵インスリノーマの1例 一般講演

**第7回肝胆膵フォーラム in Yamaguchi 10/4 山口**

1. 天野彰吾、戒能聖治、仙譽 学、松隈 聡、永野浩昭、坂井田功 原発性胆嚢管癌の一切除例 一般講演
2. 松井洋人、坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、松隈聡、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 当教室におけるBorderline resectable 膵癌に対する術前ゲムシタピン+ナブパクリタキセル療法の経験 一般講演

**第17回山口消化器病態研究会 10/26 山口**

1. 永野浩昭 特別講演 座長
2. 徳光幸生、坂本和彦、徳久善弘、松隈 聡、松井洋人、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 腹腔鏡下肝切除の経験を活かした胆嚢癌疑診例に対する腹腔鏡下手術 一般演題

**山口地方裁判所医療関係訴訟のための講演会 10/26 山口**

1. 山本 滋 乳がん診療について 講師

**第23回Cancer Forum in Yamaguchi 10/27 山口**

1. 永野浩昭 特別講演 化学療法 司会

**第26回山口県内視鏡外科研究会 10/28 山口**

1. 永野浩昭 特別講演 座長

**Gastric Cancer Expert Meeting in Yamaguchi 11/8 山口**

1. 永野浩昭 ディスカッション：進行再発胃癌の2ndライン治療戦略 司会
2. 飯田通久 進行再発胃癌の2ndライン治療戦略 ディスカッション

**萩市医師会学術講演会 11/15 山口**

1. 永野浩昭 山口県における肝移植 - 再開1年の経過と今後の展開 - 特別講演

**Okayama Pancreatic Cancer Meeting (肝胆膵研究会) 11/16 岡山**

1. 永野浩昭 これからの膵癌集学的治療を考える 特別講演

**第3回徳山がんセミナー 11/17 山口**

1. 鈴木伸明

**山口肝移植診療検討会 11/21 山口**

1. 永野浩昭 基調講演、症例呈示 座長
2. 徳光幸生 肝移植後に致死性不整脈により死亡した一例 症例検討
3. 徳久善弘 肝移植後に Passenger lymphocyte syndrome をきたした一例 症例検討

**大鵬薬品工業株式会社 11/22 山口**

1. 吉野茂文 胃癌における治療戦略について 講師

**第108回日本消化器病学会中国支部例会 第119回日本消化器内視鏡学会中国支部例会 11/25-11/26 山口**

1. 永野浩昭 ランチョンセミナー3 (消化器病学会) これからの膵癌集学的治療を考える ランチョンセミナー

**第42回日本肝臓学会西部会 11/30-12/1 福岡**

1. 中島正夫、坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、松井洋人、藤本拓也、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、吉野茂文、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 術前SVR は原発性肝細胞癌の肝切除後予後を改善させる 一般演題
2. 藤本拓也、坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、中島正夫、松隈 聡、松井洋人、兼清信介、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における非B 非C 肝細胞癌切除症例の臨床病理学的特徴の検討 一般演題

**がん診療セミナー in 萩 12/1 山口**

1. 山本 滋 山口大学における乳癌薬物療法の実践 - 再発治療を中心として - 特別講演

**第11回肝臓内視鏡外科研究会 12/6 京都**

1. 永野浩昭 ワークショップ4 困難な症例への対応 司会

**第3回山口膵・胆道疾患研究会 12/12 山口**

1. 松井洋人 話題提供：臨床研究報告1.切除可能境界膵癌に対する術前化学療法に関する多施設共同前向き観察研究発表2.山口県内膵癌552例の後方視的な症例発表3.山口県の胆道癌治療の現状 研究報告
2. 永野浩昭 胆道癌：治療の現状 基調講演

**Pancreatic Cancer Chemotherapy Meeting 12/14 島根**

1. 永野浩昭 これからの膵癌集学的治療を考える 特別講演

**Pancreatic Cancer Forum 2017 12/15 大阪**

1. 永野浩昭 閉会の辞

# 研究費取得状況

種別	事業名	研究者名	代表・分担	交付額	研究課題名
科研費	基盤研究(C)	永野浩昭	代表	1,100,000	形質転換と階層的複製能よりみた治療抵抗性肝癌に対する個別化治療についての研究
科研費	基盤研究(S)	永野浩昭	分担	1,500,000	モデル動物等を用いたHCV感染病態と関連する宿主・ウイルス因子の解析解析と新規治療法の開発に関する研究
科研費	基盤研究(C)	永野浩昭	分担	130,000	膵癌幹細胞におけるc-mycネットワークの発現意義の解明と新規治療標的分子の探索
科研費	基盤研究(C)	武田 茂	代表	1,400,000	Diamine Oxidase(DAO)の遺伝子多型と化学療法の消化管毒性
科研費	基盤研究(C)	飯田通久	代表	1,600,000	大腸癌肝転移に関与する癌微小環境におけるmicroRNAの機能解析
科研費	基盤研究(C)	恒富亮一	代表	1,750,000	肝細胞癌転移抑制に向けた、癌幹細胞特性を示す独自誘導Shere細胞の標的分子解析
科研費	スタート支援	北原正博	代表	1,410,000	食道癌化学療法の早期効果予測マーカー開発による個別化化学療法の確立
科研費	スタート支援	松隈聡	代表	1,500,000	膵癌幹細胞に含まれる Calreticulin 陽性細胞の幹細胞性・免疫学的機能解析
科研費	若手B	竹ノ内寛子	代表	2,500,000	がんと間質に特化した大腸がんマイクロRNAの解析に基づく免疫療法の効果予測

# 業績その他

## 2017 メディア

1. 日本経済新聞 2017年1月17日 抗がん剤 遺伝子で判定 東洋鋼鈹と山口大
2. 毎日新聞 2017年1月28日 山口県内におけるがん治療の拠点化を目指して 永野浩昭
3. 朝日新聞 2017年2月12日 消化器外科領域のがん治療～拠点化と集約化で先進・高度医療の推進～
4. 毎日新聞 2017年2月16日 がん治療の最前線紹介 市民公開講座
5. 宇部日報 2017年3月10日 “乳がん”に焦点 山本 滋
6. Club Kirara 2017年4月1日 山口県癌がん治療最前線 第1回 地域におけるがん診療の拠点化と集約化 永野浩昭 兼清信介
7. 日本経済新聞 2017年4月7日 膵癌新手術法向け器具 上野富雄
8. Club Kirara 2017年7月1日 山口県癌がん治療最前線 第2回 食道がん・胃がんの治療 永野浩昭 飯田通久
9. 宇部日報 2017年3月10日 “乳がん”に焦点 山本 滋
10. 週間文春 2017年8月31日 ライバルが認める「がん手術の達人」-肝胆膵がん- 永野浩昭
11. Club Kirara 2017年10月1日 山口県癌がん治療最前線 第3回 大腸・直腸がんの治療 永野浩昭 鈴木伸明

**山口県内におけるがん治療の拠点化を目指して。**

山口県立中央病院の永野浩昭院長が、山口県内におけるがん治療の拠点化を目指して、県内各地の医療機関と連携を図っている。永野院長は、がん治療の高度化と集約化を進め、患者の負担を軽減し、治療の質を向上させることを目指している。山口県立中央病院は、がん診療の拠点として、県内各地の医療機関と連携し、がん診療の高度化と集約化を進めている。

「身近な医療」の取り組みとして、がん診療の拠点化を進めている。がん診療の高度化と集約化を進め、患者の負担を軽減し、治療の質を向上させることを目指している。

がん診療の高度化と集約化を進め、患者の負担を軽減し、治療の質を向上させることを目指している。

**抗がん剤遺伝子で判定**

東洋鋼鈹と山口大 解析キット開発

山口県立中央病院の永野浩昭院長が、がん診療の拠点化を目指して、県内各地の医療機関と連携を図っている。永野院長は、がん治療の高度化と集約化を進め、患者の負担を軽減し、治療の質を向上させることを目指している。

**第14回 日本癌治療学会 市民公開講座**

テーマ「山口県がん治療最前線」～一体に優しいがん治療を目指して～

平成29年 2月12日(日) 13:30～16:00

会場 ANAクラウンプラザホテル (国際会議場西) (3F)

定員 250名 受講料 無料

1 「体に優しい食道がん治療」 武田 茂 (山口大学 消化器・腫瘍外科 講師)

2 「胃がんの治療」 飯田 通久 (山口大学 消化器・腫瘍外科 講師)

3 「体に優しい大腸がん治療最前線」 鈴木 伸明 (山口大学 消化器・腫瘍外科 講師)

4 「体に優しい乳がんの診断と治療」 山本 滋 (山口大学 消化器・腫瘍外科 講師)

5 「体に優しい肺がん外科治療」 上田 和弘 (山口大学 消化器・腫瘍外科 講師)

6 「肝臓がんの腹腔鏡手術」 坂本 和彦 (山口大学 消化器・腫瘍外科 講師)

司会: 永野浩昭 (山口大学 消化器・腫瘍外科 教授)

主催: 山口県立中央病院

**がん治療の最前線紹介**

がん治療の現状を学ぶ市民公開講座「山口県がん治療最前線～体に優しいがん治療を目指して」(日本癌治療学会主催)が12日、宇部市内のホテルで開かれた。市民ら約300人が参加。山口大の消化器・腫瘍外科学の講師や助教授ら 宇部 市民講座に300人

6人が食道がんや胃がん、乳がんなどの症状や治療法などをイラストや動画を用いて分かりやすく説明した。腹部に開けた小さな穴から細長いカメラや手術器具を入れて実施する腹腔鏡手術も紹介され、参加者は熱心に聴いていた。

【松田栄二郎】

動画などを用いてがん治療の現状を説明した

**抗がん剤遺伝子で判定**

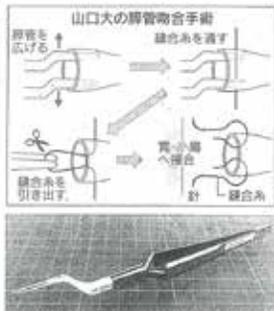
東洋鋼鈹と山口大 解析キット開発

山口県立中央病院の永野浩昭院長が、がん診療の拠点化を目指して、県内各地の医療機関と連携を図っている。永野院長は、がん治療の高度化と集約化を進め、患者の負担を軽減し、治療の質を向上させることを目指している。

【三】 胃と接合不全起きにくく  
 ミヤハラ・JMS、山口大と開発

# 臍臓 新手術法向け器具

胃と接合不全起きにくく  
 ミヤハラ・JMS、山口大と開発



【三】 胃と接合不全起きにくく  
 ミヤハラ・JMS、山口大と開発

胃腸管吻合手術は、胃腸がんの手術で最も多い。胃と小腸(十二指腸)を再接合させる手術で、胃腸管吻合術と呼ばれる。胃腸管吻合術は、胃腸がんの手術で最も多い。胃と小腸(十二指腸)を再接合させる手術で、胃腸管吻合術と呼ばれる。

胃腸管吻合術は、胃腸がんの手術で最も多い。胃と小腸(十二指腸)を再接合させる手術で、胃腸管吻合術と呼ばれる。

## 週刊文春

8月31日号 120円

胃腸管吻合術は、胃腸がんの手術で最も多い。胃と小腸(十二指腸)を再接合させる手術で、胃腸管吻合術と呼ばれる。

## 「乳がん」に焦点

### セントヒル病院で市民講座

セントヒル病院主催の市民公開講座は、このほど、宇都宮市今村北3丁目同病院で開かれた。山口大大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科学分野の山本滋博氏が、乳がんをテーマに早期発見の大切さや最新の治療について分かりやすく講演した。女性の8人に1人がかかる乳がん。しかし県内の受診率は21.0%と全国最下位(2013年)。山本講師は、早期発見すれば9割以上が10年生存できることを示した。



最新の乳がん治療について話す山本講師(セントヒル病院で)

### 肝・胆・膵がん

医師名	所属機関	所属	所在地	特徴
山本滋博	群馬県立大学病院 外科(肝・胆・膵外科)	消化器科	埼玉県	国立がんセンター(当時)、癌研利根病院(現)で各24年間外科1500例、胆膵500例、胆道200例の手術を経験。腫瘍から腫瘍までほぼ全腫瘍を手術できる。
大塚博之	千葉大学医学部附属病院 消化器外科	消化器科	千葉県	高難関の肝がん、胆膵がん(胆管がんや胆嚢がんなど)、胃がんの手術に積極的に取り組む。高度進行がんも根治の可能性を求めて治療している。
島田和明	国立がん研究センター中央病院 腫瘍科(肝・胆・膵)	消化器科	東京都	肝臓腫瘍科の1人。肝がん680例、胆膵がん234例、膵がん557例を手術。高難度胆膵がんも根治を目指して治療している。
渡邊謙一	虎の門病院 消化器外科(肝・胆・膵)	消化器科	東京都	年間の手術数は約2000件。胆膵手術を伴う手術が、肝臓がん、膵臓がん、胆膵がんの手術の大半を占める。患者とともに歩む治療が得意。
宮崎博	国際医療福祉大学三田病院 消化器科	消化器科	東京都	肝臓がん、胆膵がん、膵臓がんの手術で、手術の最新技術を提供。大腸がん、膵臓がん、胆膵がんの手術にも積極的に取り組む。
藤上典史	国立国際医療研究センター病院 腫瘍科	消化器科	東京都	臨床研究で、肝臓がん、胆膵がん、膵臓がんの手術で、手術の最新技術を提供。大腸がん、膵臓がん、胆膵がんの手術にも積極的に取り組む。
山本雅一	東京女子医科大学病院 消化器外科	消化器科	東京都	肝臓がん、胆膵がん、膵臓がんの手術で、手術の最新技術を提供。大腸がん、膵臓がん、胆膵がんの手術にも積極的に取り組む。
江川裕人	東京女子医科大学病院 消化器科	消化器科	東京都	肝臓がん、胆膵がん、膵臓がんの手術で、手術の最新技術を提供。大腸がん、膵臓がん、胆膵がんの手術にも積極的に取り組む。
阪本良弘	東京大学医学部附属病院 消化器外科	消化器科	東京都	肝臓がん、胆膵がん、膵臓がんの手術で、手術の最新技術を提供。大腸がん、膵臓がん、胆膵がんの手術にも積極的に取り組む。
川崎誠治	順天堂大学医学部附属順天堂病院 消化器外科	消化器科	東京都	肝臓がん、胆膵がん、膵臓がんの手術で、手術の最新技術を提供。大腸がん、膵臓がん、胆膵がんの手術にも積極的に取り組む。
本園直樹	国立がん研究センター 消化器外科	消化器科	東京都	肝臓がん、胆膵がん、膵臓がんの手術で、手術の最新技術を提供。大腸がん、膵臓がん、胆膵がんの手術にも積極的に取り組む。
藤澤明夫	がん研習会病院 消化器外科	消化器科	東京都	肝臓がん、胆膵がん、膵臓がんの手術で、手術の最新技術を提供。大腸がん、膵臓がん、胆膵がんの手術にも積極的に取り組む。
高山生村	日本大学医学部附属病院 消化器外科	消化器科	東京都	肝臓がん、胆膵がん、膵臓がんの手術で、手術の最新技術を提供。大腸がん、膵臓がん、胆膵がんの手術にも積極的に取り組む。
藤内雅哉	慶応義塾大学 消化器外科	消化器科	東京都	肝臓がん、胆膵がん、膵臓がんの手術で、手術の最新技術を提供。大腸がん、膵臓がん、胆膵がんの手術にも積極的に取り組む。
藤井洋	富山大学附属病院 消化器外科	消化器科	富山県	肝臓がん、胆膵がん、膵臓がんの手術で、手術の最新技術を提供。大腸がん、膵臓がん、胆膵がんの手術にも積極的に取り組む。
上坂克彦	群馬がんセンター 消化器外科	消化器科	群馬県	肝臓がん、胆膵がん、膵臓がんの手術で、手術の最新技術を提供。大腸がん、膵臓がん、胆膵がんの手術にも積極的に取り組む。
藤野正人	乳がんセンター 消化器外科	消化器科	東京都	肝臓がん、胆膵がん、膵臓がんの手術で、手術の最新技術を提供。大腸がん、膵臓がん、胆膵がんの手術にも積極的に取り組む。
江崎智博	名古屋大学医学部附属病院 消化器外科	消化器科	愛知県	肝臓がん、胆膵がん、膵臓がんの手術で、手術の最新技術を提供。大腸がん、膵臓がん、胆膵がんの手術にも積極的に取り組む。
村岡篤	徳島大学医学部附属病院 消化器外科	消化器科	徳島県	肝臓がん、胆膵がん、膵臓がんの手術で、手術の最新技術を提供。大腸がん、膵臓がん、胆膵がんの手術にも積極的に取り組む。
佐野力	愛知県がんセンター 消化器外科	消化器科	愛知県	肝臓がん、胆膵がん、膵臓がんの手術で、手術の最新技術を提供。大腸がん、膵臓がん、胆膵がんの手術にも積極的に取り組む。
高橋秀典	大阪府がんセンター 消化器外科	消化器科	大阪府	肝臓がん、胆膵がん、膵臓がんの手術で、手術の最新技術を提供。大腸がん、膵臓がん、胆膵がんの手術にも積極的に取り組む。
大沢秀博	広島大学病院 消化器外科	消化器科	広島県	肝臓がん、胆膵がん、膵臓がんの手術で、手術の最新技術を提供。大腸がん、膵臓がん、胆膵がんの手術にも積極的に取り組む。
永野浩樹	山口大学医学部附属病院 消化器外科	消化器科	山口県	肝臓がん、胆膵がん、膵臓がんの手術で、手術の最新技術を提供。大腸がん、膵臓がん、胆膵がんの手術にも積極的に取り組む。
江口晋	長崎大学病院 消化器外科	消化器科	長崎県	肝臓がん、胆膵がん、膵臓がんの手術で、手術の最新技術を提供。大腸がん、膵臓がん、胆膵がんの手術にも積極的に取り組む。

### 山口県 がん治療最前線

6回連載



山口大学大学院 消化器 腫瘍外科学  
教授 山崎 孝野

## 第1回 地域におけるがん診療の 拠点化と集約化

山口大学大学院  
医学系研究科  
消化器・腫瘍外科学  
www.yamaguchi-gp.org.jp

山口県がんセンター  
〒750-8585 山口県山口市  
TEL:083-827-1111  
FAX:083-827-2264

5 山口県がん治療最前線

#### はじめに

高度がんは、進行する高齢化社会に伴って、日本人の人口が「がん」を患う時代を迎えています。治療法は日々目ざましい進歩を遂げていますが、その一方で、がん治療に関する情報も複雑化しており、患者様にとっても、何が重要で、どこでどう治療を受けたいのかの迷いも多くなってきています。

実際には、日本には10万人以上の癌患者に罹患した際に、がん診療の拠点化と集約化の重要性という観点から述べたいと思います。



がん診療の最前線  
肺、大腸、胃、膵臓、肝臓の順でがん死亡率が多く、上記5臓器でがんが死亡数の約5割を占めています。

#### がん診療の拠点化と集約化について

がん診療の専門化・高度化が進み、また様々な医療機器の進歩により、どこでも同じような治療を受けられることは、現実的に不可能です。特に食道がんや膵臓がんなどの治療の場合には、治療を受ける施設によって合併症（再発のリスク）の発生や予後にも大きな差がでてきます。治療の難しいがん診療には拠点化と集約化が重要となります。

全国には、質の高いがん医療を受けられるように、厚生労働省が指定した「がん診療連携拠点病院」があります。指定施設は、がん診療の内容や設備、がん関連の情報提供などについての基準を満たす必要があります。山口県では、都道府県がん診療連携拠点病院として平成19年1月に国立大学法人山口大学医学部附属病院が指定されています。内科・外科をはじめとして、腫瘍センター、放射線治療科、病理診断等の多診療科介入と連携共有により、がんに対する診療の質が格段に上がっています。

山口大学消化器・腫瘍外科では、主に消化器科（上部・下部）、肝・膵・胆内外、乳腺・内分泌科を柱として高度な最先端治療を提供しています。各診療チームにおいては、診療科（食道がん専門科、肝臓腫瘍科、膵臓腫瘍科、内臓腫瘍科）の専門医の協力を得て、患者様に最適な治療を提供しています。手術に関しては、最新手術を完結するまで、積極的に「第二の意見」を求めています。手術以外では放射線治療をはじめ、当科に特長のある分子標的

治療も積極的に導入しています。また、多数の臨床試験・臨床治験の登録施設となっており、治療メダソンを確立することを第一の使命とし、国際学会などの、積極的に発表の機会を得ています。

患者さんの心にある「医師」をキーワードに、救急第一へと変わって、診療にあてておりますので、何かございましたらお気軽にご相談ください。

お問い合わせは「食道がん・胃がんの診療」に関して、情報発信したいと思っております。

★文責：編集 山崎 孝野

山口県がん治療最前線

### 山口県 がん治療最前線

6回連載



山口大学大学院 消化器 腫瘍外科学  
教授 山崎 孝野

山口大学大学院  
医学系研究科  
消化器・腫瘍外科学  
www.yamaguchi-gp.org.jp

山口県がんセンター  
〒750-8585 山口県山口市  
TEL:083-827-1111  
FAX:083-827-2264

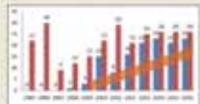
6 山口県がん治療最前線

## 第2回 「食道がん・ 胃がんの治療」

#### ◆食道がん

日本において、食道がんは罹患率（病気がかかる確率）、死亡率ともに男性のほうが高く（女性の5倍以上）、罹患率は第10位、死亡率では第6位です（罹患率が統計）。山口県では、毎年300人前後の方が新たに食道がんと診断され、170人前後の方が食道がんで亡くなっています（山口県のがん発症）。

山口大学 消化器・腫瘍外科は、山口県内で最多の手術件数（年間300例）を行っています。体の負担が大きい食道がん手術に対して、早くから胸腔鏡下手術を導入し、低侵襲で経済性の高い（体にかかる負担）治療を行っています。胸腔鏡下手術の比率は、年々増加しており、近年では8割以上の方



山口県における食道がん手術数の増加傾向



上腹部鏡手術チームの集約化

安全に施行しています。また、集中治療とも連携し、術後管理の確保を本施設での術前計画を以て標準に取られています。さらに食道がん切除後、縦方向のために、補助療法としての化学療法や放射線治療、臨床試験としてのワタナベ療法等の集約的治療も積極的に行っています。

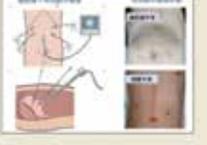
食道は重要な臓器に囲まれているため、食道がん手術には専門的な解剖学的知識が必要となります。当科では食道がん治療経験豊富な食道外科専門医3名（吉野、武田、藤原）がおり、食道がんの手術、治療を責任持って担当させていただいています。

#### ◆胃がん

胃がんは日本人に多いがんで男性は8人に1人、女性は13人に1人の割合で一生涯のうちには胃がんにかかる可能性があります。胃がんの診療成績は向上してきており、早期胃がんの手術率は90%以上と適切な治療を行うことでの可能性が高いかたとなっています。胃がんの診療は、手術、抗がん剤治療が行われ

ており、当科は主に手術、抗がん剤による治療を担当しています。

胃がんの手術では近年、胸腔鏡手術が普及しつつあり、全開の胃がん手術の4割弱が胸腔鏡で行われるようになってきました。胸腔鏡下手術は痛みが少なく、回復が早いという特徴があり、手術の負担を軽減し、回復の速さを期待しています。



みがかなく2週間程度で退院が可能です。また当科の成績では胸腔鏡手術は術後の合併症発生率や死因予後も開腹手術以上に良好な成績でした。体にかさず、安全な手術として当科でも積極的に胸腔鏡下手術を取り組んでおり、食道がんの手術の質を向上させています。

抗がん剤治療に関しては、がん薬物療法専門医のいる最前線のカンファレンスで治療方針を話し合い、最適な治療方針を決定しています。大学病院との連携から最先端の治療にも積極的に取り組んでいます。

★文責：編集 山崎 孝野

胃がんは日本人に多いがんで男性は8人に1人、女性は13人に1人の割合で一生涯のうちには胃がんにかかる可能性があります。

### 山口県 がん治療最前線

6回連載



山口大学大学院 消化器 腫瘍外科学  
教授 山崎 孝野

## 第3回 大腸・直腸がん の治療

山口大学大学院  
医学系研究科  
消化器・腫瘍外科学  
www.yamaguchi-gp.org.jp

山口県がんセンター  
〒750-8585 山口県山口市  
TEL:083-827-1111  
FAX:083-827-2264

7 山口県がん治療最前線

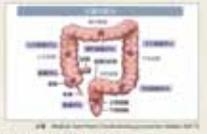
#### 大腸がん

大腸はおなかの中を走ると呼ばれるにまわっている臓器で、直腸→肛門までの距離と直腸に分類され、横切ると大腸が人の死亡数は、2014年時点で男性では腸がん、胃がんについて3位、女性では1位とされており、男女合わせて大腸がんの1位とされており、全国で第2位の発症率となっています。一方、大腸がんは早期に発見すれば非常に治療しやすいがんで、早期がんであれば大腸内視鏡での治療が可能です。

近年、山口大学 消化器・腫瘍外科は消化器科での内視鏡治療が可能な大腸がんの手術および手術が困難な大腸がんや再発大腸がんの抗がん剤治療を行っています。年間の100例以上の大腸がんの手術を行い、そのうち約9割の患者さんに腹腔鏡手術を施行しています。大腸がんが早期に発見されれば手術も必要ありません。そのため、大腸がんは早期発見が重要です。また、大腸がんはインビザン®を服用し、術式を定型的に手術に臨んでおり、腹の臓器に侵襲しているような大きな大腸がん以外



山口県における大腸がん手術数の増加傾向



大腸がんの発生部位

は全て腹腔鏡手術を取り入れています。早期がんでないと思われる患者さんには様々な臨床試験に参加してもらいながら、積極的に抗がん剤治療を行っています。大腸がんは非常に抗がん剤がよく効くがんで、早期がんでないと思われる患者さんでも腹腔鏡手術から早期発見となり、早期発見に転じた方が手術を受けることにより、完全に治癒する場合があります。

#### 直腸がん

直腸は先に述べた通り、大腸の出口の肛門に近い部位にあります。そのため、一度患者さんのQOL（Quality of Life:生活の質）に関わるのは、肛門直腸手術を受けることとなります。我々は、腹腔鏡補助下低位直腸肛門切離術や腹腔鏡補助下内肛門直腸切離術を行うことにより、限りなく肛門リハビリに近づけていけるように、腹腔鏡手術を行っています。もともと、せつかく肛門を残しても、お年寄りなどで手術前からおしりの痛みが強い患者さんは、むしろ人工肛門にしてあげることがQOL向上につながるため、患者さんひとりとりに合った

治療をお勧めしています。

また、手術には直腸以外にも重要な臓器が手術あり、肝臓、膵臓、胆嚢など、周囲臓器を合併切除する手術では、泌尿器科、泌尿器科、整形外科などと連携して、総合的に治療を行っています。



直腸がんの内視鏡手術

限りなく早期がんの手術に近づけていけるように、腹腔鏡手術を行っています。もともと、せつかく肛門を残しても、お年寄りなどで手術前からおしりの痛みが強い患者さんは、むしろ人工肛門にしてあげることがQOL向上につながるため、患者さんひとりとりに合った

★文責：編集 山崎 孝野

山口県がん治療最前線

# Clinical and Research Conference

## 2017.2.4

時間	全体進行係：鈴木 伸明	
7:30 ~ 9:15	1.各診療グループ報告	司会：武田 茂
	・上部消化管グループ	武田 茂
	・下部消化管グループ	鈴木 伸明
	・肝胆膵グループ	坂本 和彦
	・乳腺内分泌グループ	山本 滋
	・腫瘍センター	吉野 茂文
9:15 ~ 16:51	2.研究者発表会議	2016年 研究総括：碓 彰一
		午前司会：山本 滋 午後司会：武田 茂
	藤原 康弘	The relationship between the expression of NQO-1 and the outcome of pancreatic cancer patients Analysis about Cathepsin B and Annexin A2 which are highly expressed in pancreatic cancer stem like cells
	桑原 太一	Relationship between tumor infiltrating lymphocytes and MSI as a prognostic factor in colorectal cancer
	近藤 潤也	The effect of prolonged fixation on the immunohistochemical evaluation and fluorescence in situ hybridization results of HER2 expression in advanced gastric cancer
	中島 正夫	Immunotherapy against colon cancer using novel Chimeric Antigen Receptor T cell (CART) High SPARC expression of stromal cells surrounding the cancer cells is associated with a lower recurrence rate and better survival in patients with resectable gastric cancer
	藤本 拓也	Analysis of the immune checkpoints expression in Pancreatic cancer stem like cells ( P-CSLCs ) Analysis about relationship between expression of Cathepsin B and Annexin A2 in P-CSLCs Search for biomarkers to predict the efficacy of the vaccine treatment against metastatic colorectal cancer.
	西山 光郎	Cancer Stem-like Sphere Cells Induced from De-differentiated Hepatocellular Carcinoma-derived Cell lines Exerts Liver Metastatic Potential Induction of squamous cancer stem-like cells from cell lines of esophageal cancer
	田中 宏典	MiR-125b and miR-378a are possible predictive biomarkers for the efficacy of the vaccine treatment for colorectal cancer
	松井 洋人	Adjuvant Immunotherapy using dendritic cells transfected with HSP70mRNA following curative hepatectomy of hepatocellular carcinoma : phase I / II study
	武田 茂	Evaluation of the postoperative nutritional status in esophageal cancer patients
	来嶋 大樹	MicroRNA-6826 and -6875 in plasma are the useful and noninvasive biomarker to predict the efficacy of the vaccine treatment against metastatic colorectal cancer.
	松隈 聡	Calreticulin is highly expressed in pancreatic cancer stem like cells.
	北原 正博	Prediction of the efficiency of immunotherapy by measuring the integrity of cell-free DNA in plasma in colorectal cancer
	前田 訓子	Expression of secreted protein acidic and rich in cysteine (SPARC) in triple negative breast cancer
	恒富 亮一	Cancer stem-like sphere cells from HCC cell lines & genome wide analysis for clinical application
	徳光 幸生	Development of an individualizing predictive system for outcome of patient with hepatocellular carcinoma after curative hepatectomy
	友近 忍	Rectus sheath block(RSB) by ropivacaine in patients undergoing laparoscopic colectomy. TCR Sequencing of Advanced Colorectal Cancer Patients Receiving anti-EGFR

---

飯田 通久	Overexpression of miR221/222 in cancer stroma are associated with malignant potentials in colorectal cancer.
坂本 和彦	Surgical treatment of hepatocellular carcinoma with tumor thrombus in the inferior vena cava and/or the right atrium in Yamaguchi University
鈴木 伸明	A phase study of Bi-weekly XELIRI with Bmab for patient with metastatic colorectal cancer as 2nd-line chemotherapy
徳久 善弘	Preoperative risk factors for pancreatic fistula after pancreaticoduodenectomy. The role and mechanism of STAT3 in tumor-associated macrophage in tumorigenesis and inflammatory microenvironment.
中須賀 千代	
山田 健介	
佐藤 陽子	
徳久 晃弘	業績・目標報告
関矢 まり	
渡邊 孝啓	
山本 滋	Contrast-enhanced ultrasonography in diagnosis of sentinel node metastasis in breast cancer patients

---

16:51 ~ 17:01

4.総括

永野 浩昭 教授

---

# 研究者発表会議

2016.7.23

時間	全体進行係：鈴木 申明
7:30 ~ 14:06	1.研究者発表会議 午前司会：山本 滋 午後司会：武田 茂
山田 健介	Search for biomarkers of colon cancer immunochemotherapy by comprehensive protein analysis of tumor tissue. Search for biomarkers of adoptive immunotherapy and chemotherapy for pancreatic cancer.
中島 千代	Search for biomarkers of colon cancer immunochemotherapy by comprehensive protein analysis of serum samples
藤原 康弘	Measurement of blood and tissue concentration of NQO-1 by ELISA in pancreatic cancer patients with curative resection. Stemness of Calreticulin positive cells and the expression of molecules related to immune response in pancreatic cancer.
桑原 太一	Relationship between tumor infiltrating lymphocytes, MSI and BRAF600E mutation as a prognostic factor in colorectal cancer. The role and mechanism of STAT3 in tumor associated macrophage in tumorigenesis microenvironment.
中島 正夫	Overcoming therapeutic resistance in solid tumor with anti-PD-1scFv secreting chimeric antigen receptor T cell therapy.
田中 宏典	miR-125b and miR-378a are possible predictive biomarkers for the efficacy of the vaccine treatment for colorectal cancer
藤本 拓也	Cathepsin B can be a biomarker for pancreatic cancer stem-like cells Search for biomarkers to predict the efficacy of the vaccine treatment against metastatic colorectal cancer.
西山 光郎	Metastatic ability and epithelial-mesenchymal transition in induced cancer stem-like hepatoma cells. Induction of squamous cancer stem-like cells from cell lines of esophageal cancer
近藤 潤也	The effect of prolonged fixation on the immunohistochemical evaluation and fluorescence in situ hybridization results of HER2 expression in advanced gastric cancer.
田中 宏典	MiR-125b and miR-378a are possible predictive biomarkers for the efficacy of the vaccine treatment for colorectal cancer.
松井 洋人	Post-Operative Adjuvant Therapy for Resectable Pancreatic Cancer With Gemcitabine and Adoptive Immunotherapy
武田 茂	Association of single nucleotide polymorphisms in the diamine oxidase gene with gastrointestinal toxicity during chemotherapy in patients with esophageal carcinoma.
藤原 信行	Elucidation of the role of Protein phosphatase 6 in gastrointestinal cancer. Construction of a novel therapeutic strategy targeting cancer stem cells focused on autophagy-induced protein Beclin 1
松隈 聡	Outcomes after hepatectomy for multinodular hepatocellular carcinoma in intermediate stage of Barcelona Clinic Liver Cancer (BCLC-B) classification. The concept of our study about pancreatic cancerstem like cells.
北原 正博	Ability of Fluorine-18 Fluorodeoxyglucose Positron Emission Tomography to Predict Outcomes of Neoadjuvant Chemotherapy Followed by Surgical Treatment for Esophageal Squamous Cell Carcinoma.
前田 訓子	Expression of secreted protein acidic and rich in cysteine (SPARC) in triple negative breast cancer
恒富 亮一	Cancer stem-like sphere cells from HCC cell lines & genome wide analysis for clinical application
兼清 信介	Building a System for Predicting the Sequences of Epitope Peptides from Neoantigens in the Pursuit of New Immunotherapies
徳光 幸生	Development of an individualizing predictive system for outcome of patient with hepatocellular carcinoma after curative hepatectomy.
友近 忍	TCR Sequencing of Advanced Colorectal Cancer Patients Receiving anti-EGFR
飯田 通久	Future prospect for starting a new clinical trial of gastric cancer.
坂本 和彦	Surgical treatment and outcome for hepatocellularcarcinoma with tumor thrombus in the inferior vena cava and/or the right atrium
鈴木 申明	A phase study of Bi-weekly XELIRI with Bmab for patient with metastatic colorectal cancer as 2nd-line chemotherapy
徳久 善弘	Preoperative risk factors for pancreatic fistula after pancreaticoduodenectomy.
山本 滋	Contrast-enhanced ultrasonography in diagnosis of sentinel node metastasis in breast cancer patients
14:06 ~ 14:21	2.総括 永野 浩昭 教授

# 学位取得者報告



## 松隈聡 平成17年卒

平成29年に膵癌幹細胞に関する研究で学位を取得させていただきました。

私が頂いたテーマは「膵癌幹細胞の新たな治療標的を探索する」というものでした。前任の渡邊裕策先生が確立された方法で膵癌細胞株から癌幹細胞豊富な細胞集団を誘導し、それぞれの細胞からタンパクを抽出して、2次元電気泳動による比較を行うことで、小胞体分子シャペロンであるCalreticulinが癌幹細胞の細胞膜表面に表出されていることを見出しました。近年、膵癌に対する化学療法は大きく進歩してきていますが、臨床では悔しい思いをすることがたびたびあります。今後は肝胆膵癌に対する臨床に精進しながら、引き続き癌研究にも身を投じていきたいと考えております。

最後になりましたが、ご指導いただきました永野浩昭教授、岡 正朗学長、吉村 清先生、様々な観点からご指導頂きました教室の先生方、ならびに研究補佐員の方々に深謝申し上げます。



## 来嶋大樹 平成18年卒

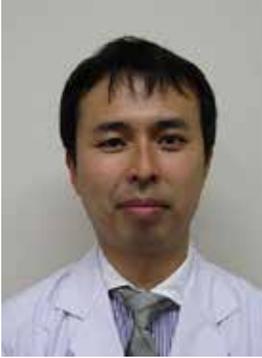
転移性大腸癌に対するワクチン療法の効果を予測する有用なバイオマーカーの探索というテーマで研究を行いました。様々なものがバイオマーカーとして研究されていましたが今回は近年注目されているmicroRNA(miR)を候補として検討しました。

運よく2種類のmiRが効果予測になりうるという結果がでて学位論文にすることができました。研究テーマの決定、具体的にどんな実験をするか、実験結果をどのように解釈し論文に掲載できるように表現するかなど、非常に多くのことを学ばせていただき、経験させていただきました。これらのことを達成できたのは厳しくも最後までご指導くださった裕先生のおかげだと感謝申し上げます。また実験をご指導頂いた恒富先生、統計やその他諸々のことを手伝って頂いた竹ノ内さんに感謝を申し上げます。

最後に大学院を無事卒業に導いてくださった岡前教授と永野教授に深謝申し上げます。この経験を無駄にしないように今後は臨床に生かして励みたいと思います。

# 学位取得者報告

## 北原正博 平成17年卒



私の研究は、末梢血中に浮遊しているがん組織由来のcell free DNAに関するものです。癌患者ではより長鎖のcfDNAが認められることから、長鎖のcfDNAの短鎖cfDNAに対する割合を示すcfDNA integrityを用いることにより、広く用いることができ、かつ簡便な方法で測定が出来ます。その方法を教室で行っている大腸癌に対するペプチドワクチン療法の方の血液検体で行い、PFSを予測するバイオマーカーになりえることが示唆された研究です。当初はバイオマーカーとしての限界を感じ、方向性を見失うこともありましたが、裕先生にご指導いただき免疫療法に用いることにより、今後のバイオマーカー研究の一助になり得ることができ、大変貴重な経験となりました。

本テーマを与えていただきました岡先生、実験から論文執筆にわたりご指導いただきました裕先生、永野先生に深謝申し上げます。そして実験を手伝っていただき、データ整理もいただきました竹ノ内さんをはじめ研究助手の皆様や医局員の先生方には心より感謝しております。本当にありがとうございました。

## 松井洋人 平成17年卒



私の学位授与論文は膵癌に高発現するMUC1を標的とした細胞障害性T細胞（CTL）を用いた養子免疫療法と、膵癌術後の標準的補助化学療法であるGemcitabineとの併用療法について論じたものです。無再発生存期間、全生存期間は標準療法であるGemcitabine単剤療法に対する大きな上乗せ効果は乏しかったですが、肝転移抑制の可能性と、十分なCTL細胞が投与できた群において無再発生存期間の延長を認めました。本研究を行うにあたり、本テーマを与えて下さいました岡 正朗学長、直接ご指導賜りました裕 彰一先生、永野浩昭教授に深く感謝申し上げるとともに研究助手、臨床検査部、輸血部、肝胆膵班の皆様、実験・手技等の直接の御指導いただきました前田祥成先生、共に研究を行った新藤芳太郎先生にこの場を借りて御礼申し上げます。当教室の歴代の先生方が脈々と引き継いでこられた癌免疫療法をこのような形で発表させて頂きましたことは大変、光栄と存じます。この度の経験を糧に一層、精進して参りたいと存じますので、今後とも何卒、宜しく願い申し上げます。

# 2017年 年間行事



ときわミュージアム内 金鯧（宇部市）

月	医局行事・他	学会	研究会・セミナーなど
1	Clinical and Research Conference	第86回大腸癌研究会	テルモ術後疼痛管理セミナー 1n 山口 第38回九州肝臓外科研究会
2	第14回日本癌治療学会 市民公開講座		第36回山口県臨床栄養研究会 第45回中国四国甲状腺外科研究会 第34回山口県食道疾患研究会
3	送別会	第53回日本腹部救急医学会総会 第89回日本胃癌学会総会	第2回徳山がんセミナー 第3回難治性疾患トランスレーションセミナー 第11回山口県消化管セミナー 第50回制癌剤適応研究会 第61回免疫懇話会 周南エリア Breast Cancer Conference 第61回西宮消化器病フォーラム
4	1病棟6階 花見	American Association For Cancer Research Annual Meeting 2017 第103回日本消化器病学会総会 第117回日本外科学会定期学術集会	15Th KLCSG
5	青山会（同門会）	第38回癌免疫外科研究会 第71回手術手技研究会	食道癌セミナー 第1回山口乳癌研究会 第44回千葉胃癌研究会 第二回山口膵・胆道疾患研究会 消化器がんセミナー in 萩
6	WCC縫合コンテスト	ASCO 2017 第26回癌病態治療研究会 第29回日本肝胆膵外科学会 第71回日本食道学会学術集会 第34回日本胆膵病態・生理研究会 第39回日本癌局所療法研究会 第21回日本がん免疫学会総会 第42回日本外科系連合学会学術集会学術集会	第76回山口県臨床外科学会 山口市 Breast Cancer Conference 第34回山口県母性衛生学会総会 第60回関西胸部外科学会学術集会 第7回愛媛肝胆膵外科セミナー
7	Clinical and Research Conference 医局旅行	第53回日本肝癌研究会 第87回大腸癌研究会 第72回日本消化器外科学会総会 第26回日本がん転移学会学術総会	第13回山口県外科感染症研究会 第15回下関消化器病フォーラム
8		第44回日本膵切研究会	第32回進行・再発乳癌勉強会 局所陰圧閉鎖療法セミナー in 山口 第11回宇部・小野田圏地域緩和ケア事例検討会
9		ESMO 2017 APDW 2017 第53回日本胆道学会学術集会 第76回日本癌学会学術総会	第12回山口県消化管セミナー 第92回中国四国外科学会総会 第22回中国四国内視鏡外科研究会 Clinical Cancer Symposium in 山口 第21回大牟田・荒尾手術手技研究会 第14回日本乳癌学会中国四国地方会 平成29年度山口県肝疾患コーディネーター養成講習会 第31回山口県乳腺疾患研究会 大腸化学療法勉強会 in 山口
10		25th United European Gastroenterology Week 第39回日本手術医学会総会 第25回日本消化器関連学会週間 第55回日本癌治療学会学術集会	第83回岡山大学第1外科教室開講記念会 プログラム 第7回肝胆膵フォーラム in Yamaguchi 第17回消化器病態研究会
11		第47回胃外科・術後障害研究会 第72回日本大腸肛門病学会学術集会 第28回日本消化器癌発生学会総会 第9回国際消化器癌発生会議 第79回日本臨床外科学会総会 第30回日本外科感染症学会総会学術集会 第30回日本バイオセラピー学会学術集会総会	Gastric Cancer Expert Meeting in Yamaguchi 萩市医師会学術講演会 Okayama Pancreatic Cancer meeting 第3回徳山がんセミナー 山口肝移植診療検討会 第108回日本消化器病学会中国支部例会 第119回日本消化器内視鏡学会中国支部例会 第42回日本肝臓学会西部会
12	大忘年会	第9回膵臓内視鏡外科研究会 第11回肝臓内視鏡外科研究会 第30回日本内視鏡外科学会総会	がん診療セミナー in 萩 第3回山口膵・胆道疾患研究会 Pancreatic Cancer Chemotherapy Meeting

## 1月 消化器・腫瘍外科学関連病院長会議



永野教授のご挨拶



高橋睦夫先生からのご挨拶

## 2月 第14回癌治療学会市民公開講座



永野教授のご挨拶。県内から大勢の市民が参加されました。



大阪大学泌尿器科 野々村祝夫教授



山本先生（乳癌治療）



武田先生（食道癌治療）



鈴木先生（大腸癌治療）



坂本先生（肝臓癌治療）



飯田先生（胃癌治療）



集合写真

## 3月 第61回免疫懇話会



坂本先生が生体肝移植の経験について発表されました。



国立がん研究センターの中面哲也先生による特別講演

### 3月 送別会



徳久先生、関矢先生、角谷副師長、病棟看護師さん達の送別会が開催されました。  
新天地での益々のご活躍を祈念致します。



関矢まり先生

北原先生いろいろ有り難うございました♡



徳久晃弘先生

兼清先生、いろいろお世話になりました！

## 5月 医局説明会



永野教授のご挨拶



中島先生より医局紹介



食事はもちろん焼肉  
早く食べたいなあ~!(^^)!

永野教授の話に耳を傾ける学生さん達。  
この中から将来の外科医が誕生か!?



## 5月 青山会



永野教授のご挨拶



水田会長のご挨拶



柴田先生に消化器外科と統合医療についてご講演いただきました。



川崎医大消化器外科の上野教授による講座紹介



青山会賞受賞の松隈先生。  
おめでとうございます！



為佐先生の留学報告



フロアからも活発な討論があり、盛り上がります！



## 5月 青山会ゴルフ



今年も多くの先生方にご参加いただき大変ありがとうございました。



普段は厳しい永野教授も今日は笑顔です！



オープニングショット!!



お見事 トップ賞は橋本先生！



前田先生も頑張りました！



吉永先生も賞品ゲット！



裕先生も「イエ〜い！」

## 6月 縫合実習



学生を対象に縫合実習が行われました。木村先生も参加、目が真剣です。



教え上手の徳久先生、学生さんから好評でした。



西山先生も指導に熱が入ります！

## 6月 第29回日本肝胆膵外科学会



川崎医大 上野富雄教授考案の吻合補助器 (JMS InnerSure Ace) の展示ブース



たくさんの外科医が訪れていました。

## 7月 消化器外科学会@金沢



# 第72回 日本消化器外科学会総会

The 72nd General Meeting of the Japanese Society of Gastroenterological Surgery



永野教授のご挨拶



学会でしっかり勉強した後のお食事は楽しいですね!!



現地同門会での集合写真

## 7月 萩医局旅行@萩



山口県萩にて恒例の医局旅行を開催しました。



そうめん流しに夢中な子供たち



イエーイ



パパ大好き♡



はしに夢中な木村先生



いっぱい食べたら、え～んや



パパそっくり！



あ～海は気持ちいいなあ！

医局旅行を盛り上げてくださった山本先生、  
亀井先生、本当にありがとうございました。

## 9月 坂本和彦先生送別会



坂本和彦講師が都志見病院へ転勤となりました。先生の外科医魂は後輩にも継承されていくことでしょう！



國澤副師長から花束贈呈



鈴木医局長、徳光先生からのお言葉



あとは徳光に任せて下さい！



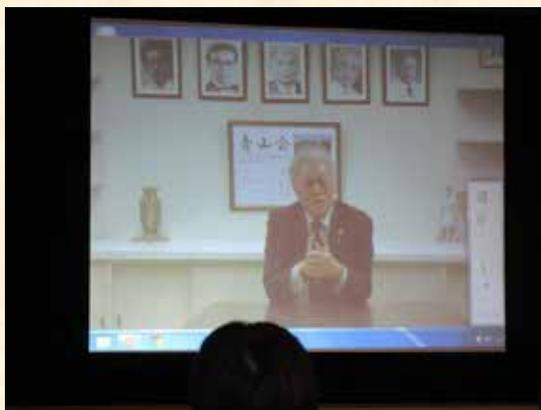
松井もいます!(^^)!

## 10月 第17回消化器病態研究会



横浜市立大学医学部消化器・腫瘍外科学 遠藤格教授に特別講演していただきました。

## 12月 山口県外科専門医育成会議



永野教授のご挨拶



これからの山口県を支える若手外科医たち



太田先生による症例検討



河岡先生より若手へアドバイス



関連病院から若手外科医が集結しました。

## 12月 病棟大忘年会



2017年を締めくくる病棟大忘年会です、今年もたくさんの余興があり、大変盛り上がりました！



木村先生、足を骨折しながらの作品！！



35億



看護師さんのチームワークはピカイチ！



体が熱くなってきた～ 1人

## 編集後記

2017年は、永野教授が着任されて3年目の節目の年であった。上部消化管、下部消化管、肝胆膵、乳腺・内分泌と臓器ごとのグループ診療体制が確立し、より質の高い医療の提供を目指し日々の診療に従事する中、全国からみて山口大学の医療が、山口県の医療がどのような立ち位置にあるか、己という名の「山口」を知るための3年間であったように思う。ところで、「山口を知る」とこと「教室年報」は、私の中では無縁ではない。教室年報作成に関わって今回で3回目、表紙や挿絵に「山口の名所」を意識して写真を載せてきた。この年報はホームページよりアクセス可能で全国各地の多くの方(?)にご覧になって頂けると思い、山口の魅力をアピールすべく自ら、時には医局の先生方も巻き込んで風景画を撮ってきたが、意外にも良く知られた名所の所以を初めて知ったり、今まで知らなかった名所や絶景を知る機会にもなった。己を知ること、山口を知ることが、山口から情報発信していくための礎になる?なんてことを考えてみたりする。2018年は「明治維新150年」。維新胎動の地「山口県」から、全国のみならず全世界に発信できる成果を残せるよう、医局員一同力を合わせて頑張っていく所存です。

平成30年5月

徳光 幸生



川棚のクスの森（下関市）  
1本のクスノキが大きく枝を広げ森のように見える。  
樹齢1000年以上とされています。

**山口大学大学院医学系研究科**  
**消化器・腫瘍外科学 教室年報：2017**

平成30年5月発行

発行 山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学

---

編集責任者 徳光幸生  
編集委員 新藤芳太郎 中島正夫 桑原太一

TEL : 0836-22-2264

FAX : 0836-22-2263

ホームページ : <http://www.yamadai-gesurgery.jp/>